第３章　高齢者福祉に関する意識調査（アンケート結果）

1. 調査の概要

(1)調査の目的

高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定にかかる基礎調査

(2)調査の種類

ⅰ）高齢者一般調査　　＝①
ⅱ）要支援・要介護認定者調査　　＝②

(3)調査設計

ⅰ）調査地域　　：今治市全域
ⅱ）調査対象者　：①65 歳以上（要介護等認定者を除く）
　　②要支援・要介護認定者
ⅲ）標本数　　：①2,000 人
　　②2,000 人
ⅳ）抽出法　　：住民基本台帳より無作為抽出
ⅴ）調査期間　：平成 20 年 8 月 28 日～9 月 19 日
ⅵ）調査方法　：調査票による本人記入もしくは代理者記入
　　郵送配布・郵送回収

(4)グラフの見方

ⅰ）集計結果はすべて小数点以下第２位を四捨五入しており、比率の合計が 100%にならないことがあります。
ⅱ）複数回答の設問の場合、集計結果の合計が 100%を超えることがあります。
ⅲ）本文中の質問の選択肢について、長い文は簡略化しているところがあります。

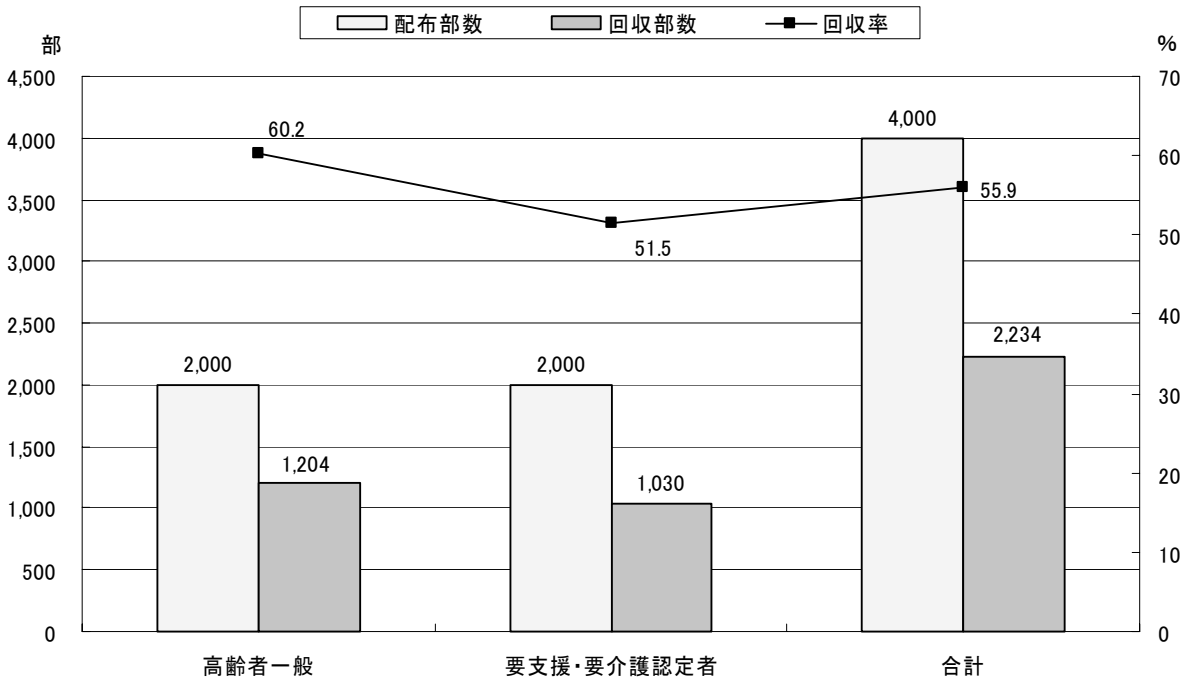
(5)回収結果

高齢者一般及び要支援・要介護認定者アンケートの回収率をみると、高齢者一般では 60.2%、要支援・要介護認定者では 51.5%となっており、高齢者一般アンケートの回収率が高くなっています。

■配布・回収状況　　単位：部・%

調査対象	配布部数	回収部数	回収率
高齢者一般（要介護等認定者を除く）	2,000	1,204	60.2
要支援・要介護認定者	2,000	1,030	51.5
合　　計	4,000	2,234	55.9

■高齢者一般、要支援・要介護認定者アンケート配布部数・回収部数・回収率グラフ

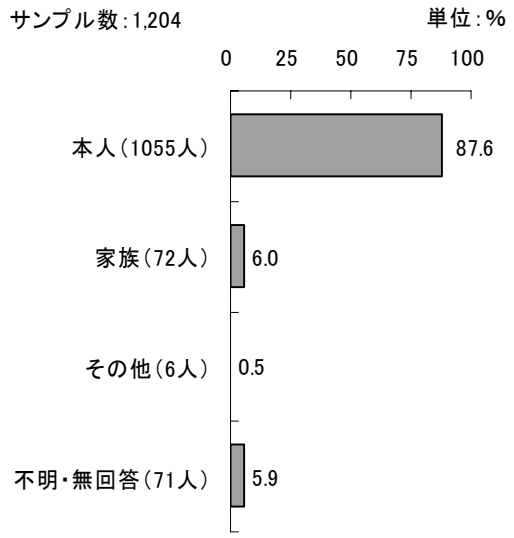


2. 高齢者一般

■ このアンケートに、ご記入いただく方はどなたですか。（○は1つ）

●「本人」が最も多い

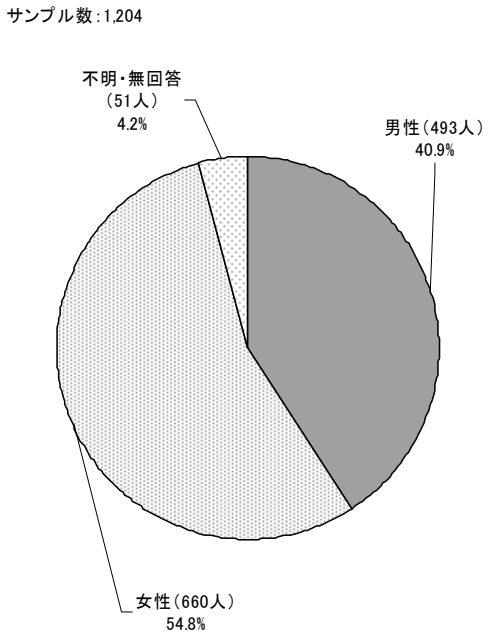
回答者についてたずねたところ、「本人」が 87.6%で最も多くなっています。



■ あなた（あて名のご本人：以下の問も同じです）の性別はどちらですか。（○は1つ）

●「女性」の方が多い

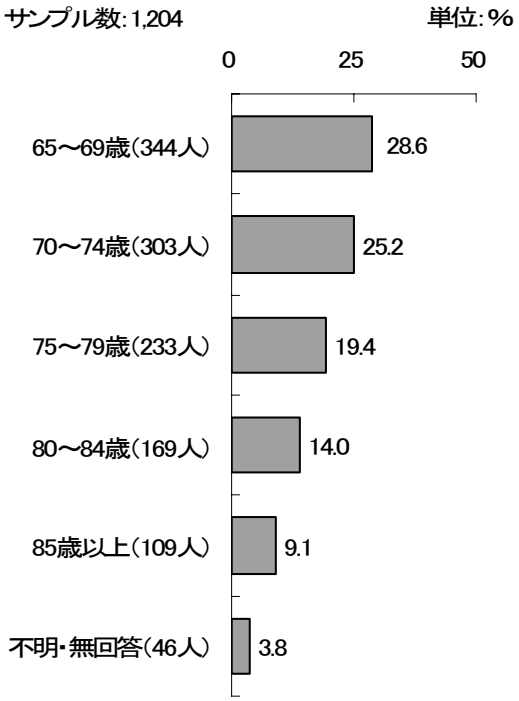
性別についてたずねたところ、「女性」が 54.8%で多くなっています。



■ あなたの年齢を教えてください。（○は1つ）

●「65～69 歳」が最も多い

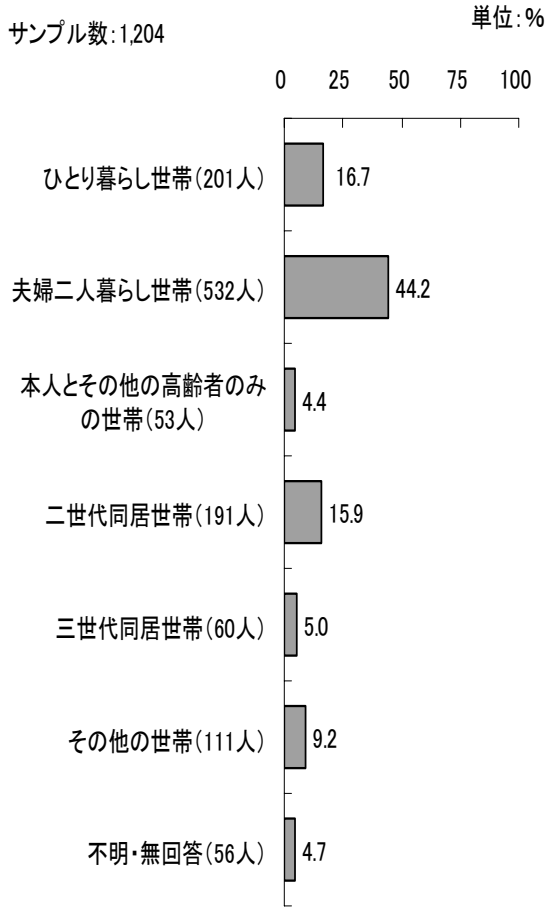
年齢についてたずねたところ、「65～69 歳」が 28.6%と最も多く、次いで「70～74 歳」が 25.2%となっています。



■ あなたの家族状況は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

●「夫婦二人暮らし世帯」が最も多い

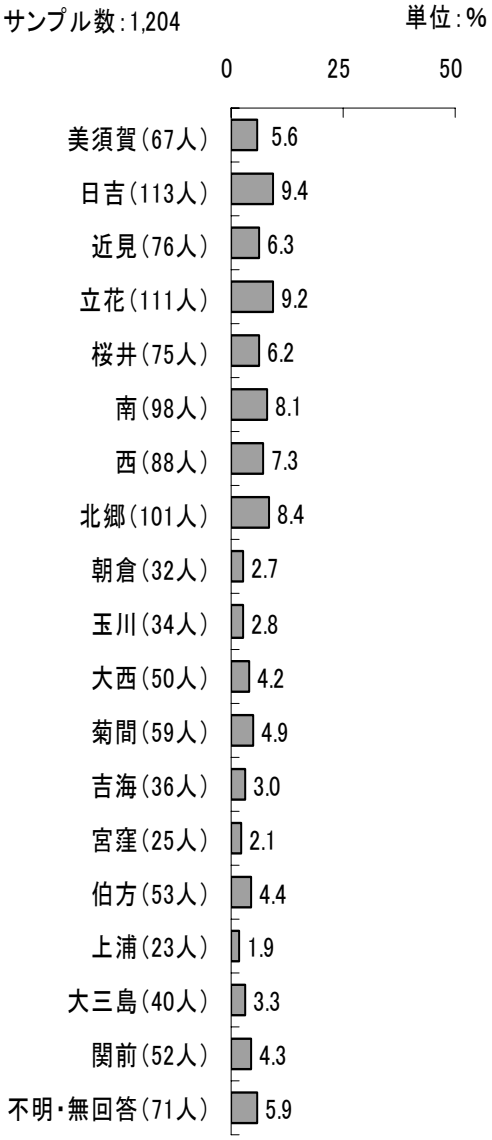
家族状況についてたずねたところ、「夫婦二人暮らし世帯」が 44.2%で最も多く、次いで「ひとり暮らし世帯」が 16.7%、「二世代同居世帯」が 15.9%となっています。



■ あなたがお住まいの中学校区はどちらですか。（○は1つ）

●「日吉」が最も多い

お住まいの中学校区についてたずねたところ、「日吉」が 9.4%と最も多く、次いで「立花」が 9.2%、「北郷」が 8.4%となっています。

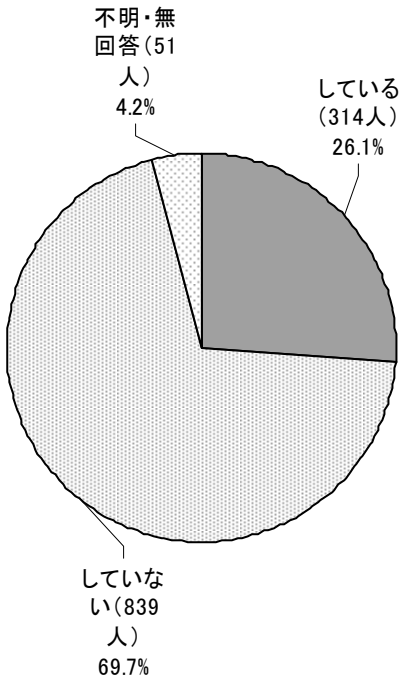


■ あなたは、現在、仕事をしておられますか。（○は１つ）

●「していない」の方が多い

現在、仕事をしているかについてたずねたところ、「していない」が 69.7%で多くなっています。

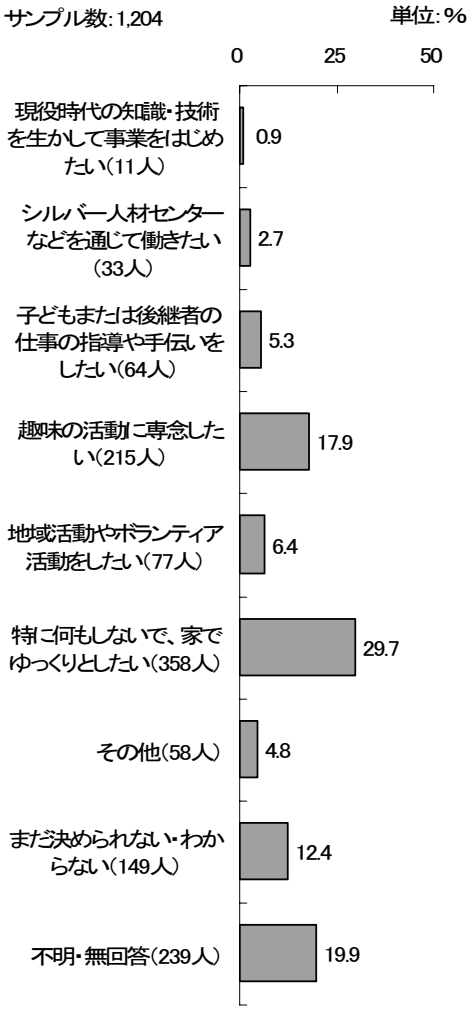
サンプル数：1,204



■ 仕事をしている方は現在の仕事をやめたあと、また、仕事をしていない方は今後どのようにしたいと思いますか。（○は1つ）

●「特に何もしないで、家でゆっくりとしたい」が最も多い

今後の希望についてたずねたところ、「特に何もしないで、家でゆっくりとしたい」が 29.7%で最も多く、次いで「趣味の活動に専念したい」が 17.9%、「まだ決められない・わからない」が 12.4%となっています。

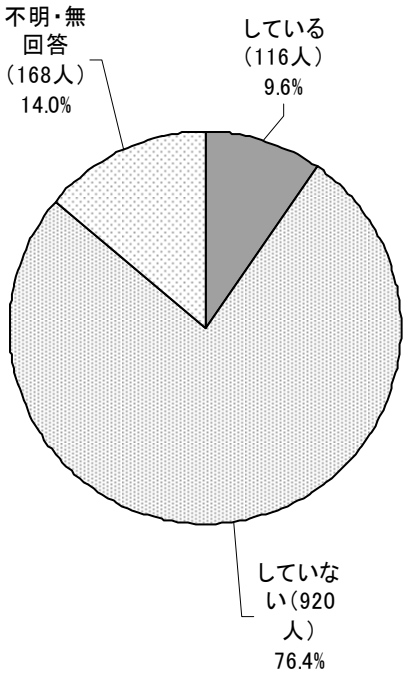


■ あなたは、現在家族を介護していますか。（○は1つ）

●「していない」が多い

現在、家族を介護しているかについてたずねたところ、「していない」が 76.4%で多くなっています。

サンプル数：1,204

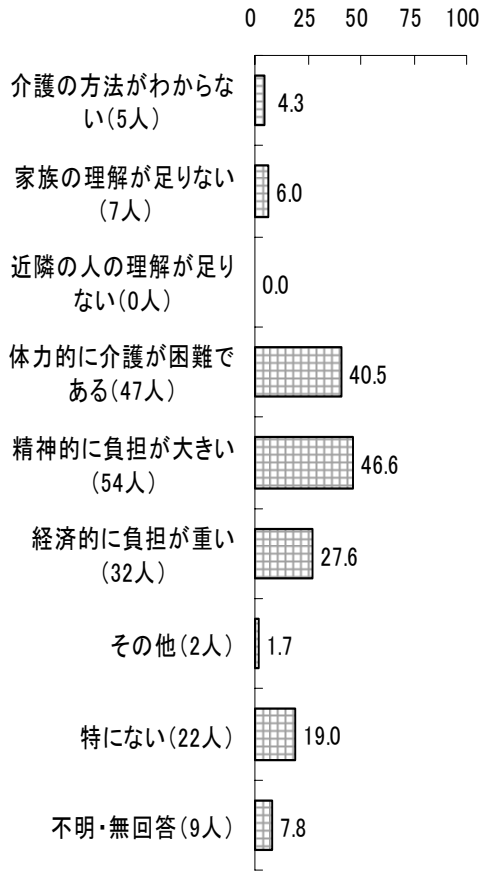


■ 介護をするうえで困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

●「精神的に負担が大きい」が最も多い

「介護している」と回答した人に対し介護をするうえで困っていることをたずねたところ、「精神的に負担が大きい」が 46.6%で最も多く、次いで「体力的に介護が困難である」が 40.5%、「経済的に負担が重い」が 27.6%となっています。

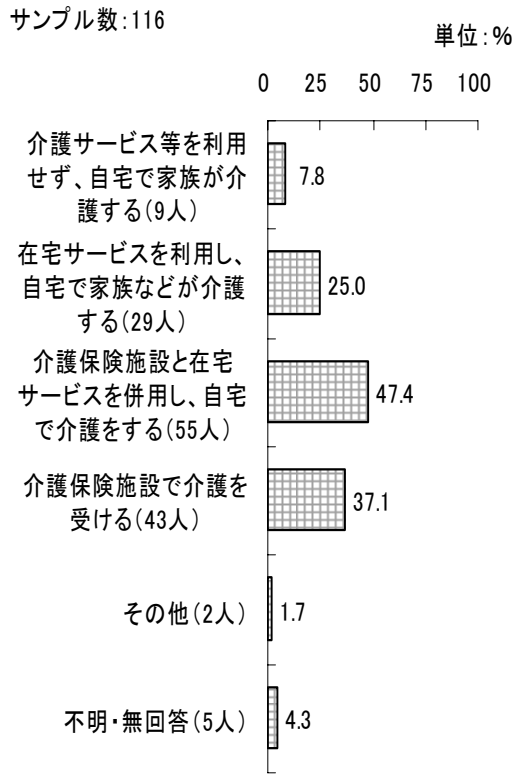
サンプル数：116　　単位：%



■　今後はどのような介護方法を考えていますか。（○はいくつでも）

●「介護保険施設と在宅サービスを併用し、自宅で介護をする」が最も多い

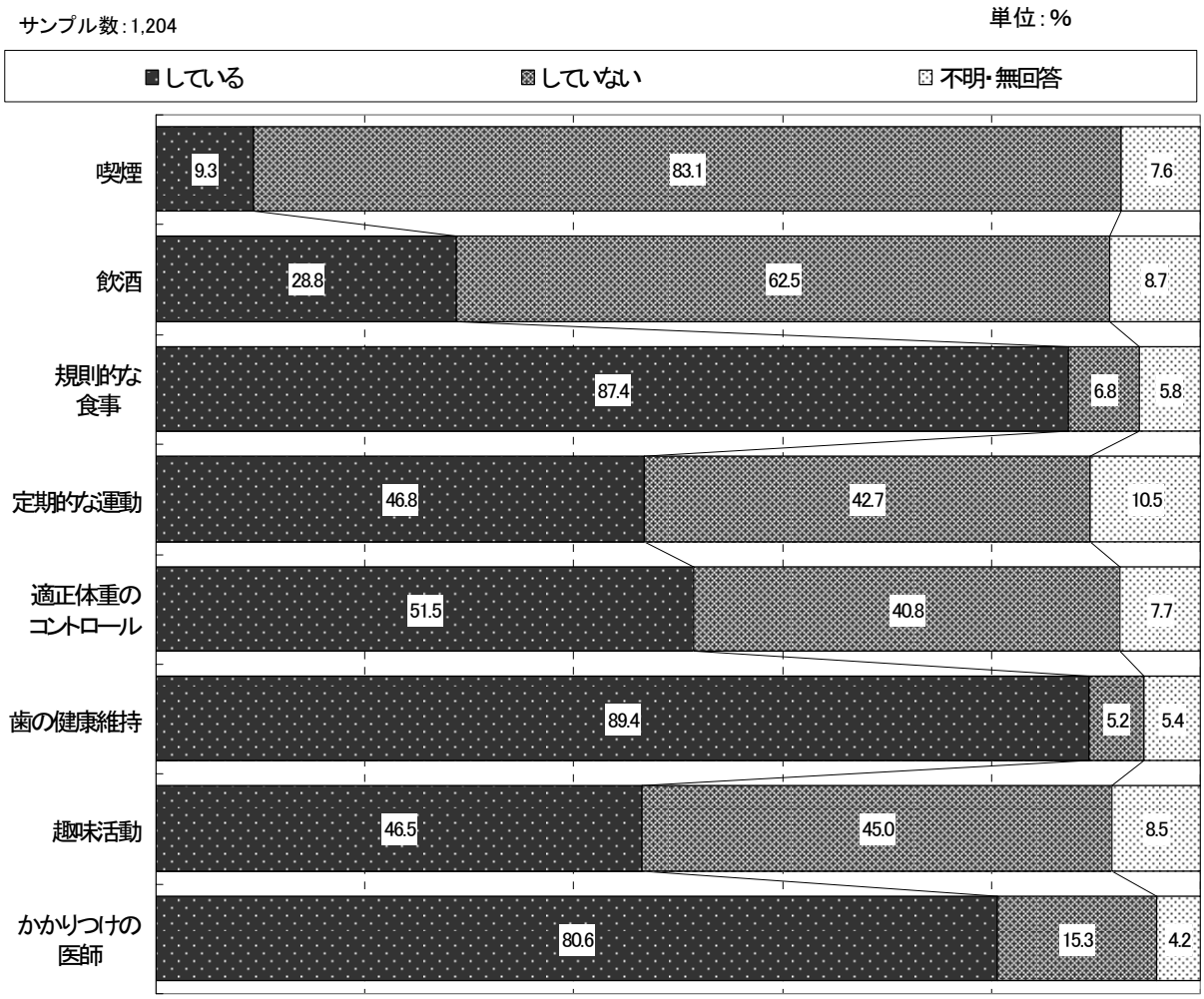
「介護している」と回答した人に対し今後の介護方法についてたずねたところ、「介護保険施設と在宅サービスを併用し、自宅で介護をする」が 47.4％で最も多く、次いで「介護保険施設で介護を受ける」が 37.1％、「在宅サービスを利用し、自宅で家族などが介護する」が 25.0％となっています。



■　あなたのふだんの生活状況についてあてはまるものを選んでください。（それぞれに○）

●「規則的な食事」、「歯の健康維持」は「している」方が多い

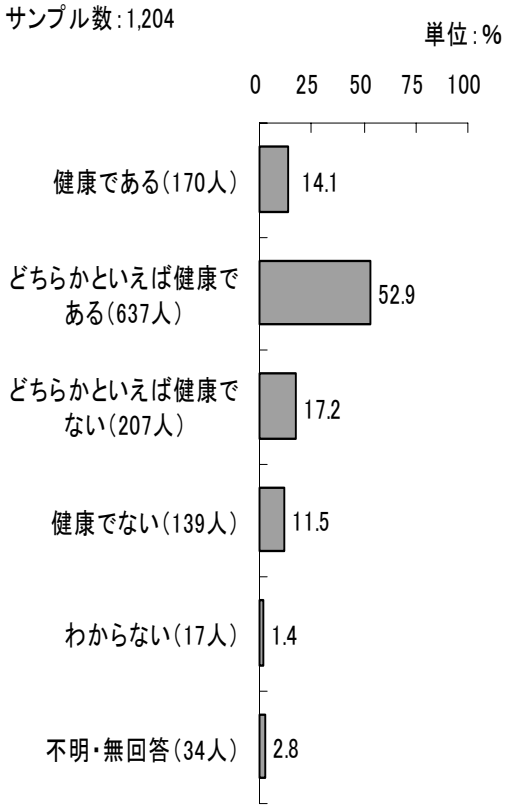
ふだんの生活状況についてたずねたところ、「規則的な食事」、「歯の健康維持」は「している」が多い状況です。



■ あなたは、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。（○は1つ）

●「どちらかといえば健康である」が最も多い

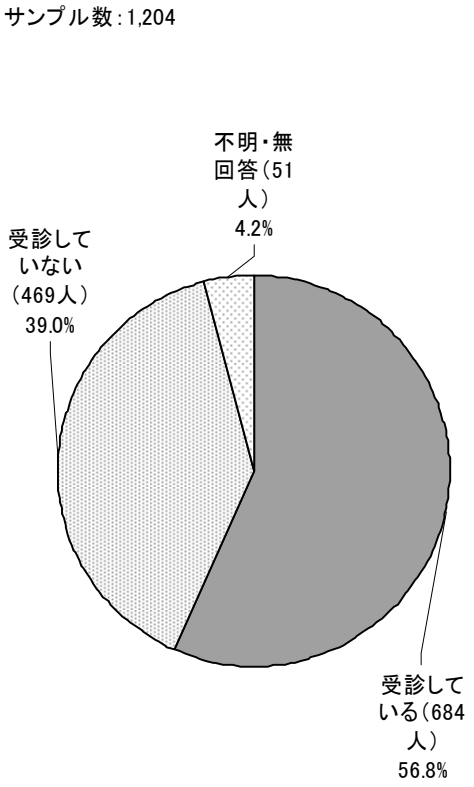
現在の健康状態についてたずねたところ、「どちらかといえば健康である」が52.9%で最も多く、次いで「どちらかといえば健康でない」が 17.2%、「健康である」が 14.1%となっています。



■ あなたは、定期的な健康診査（人間ドック、職場での健診など）を受診していますか。（○は1つ）

●「受診している」が多い

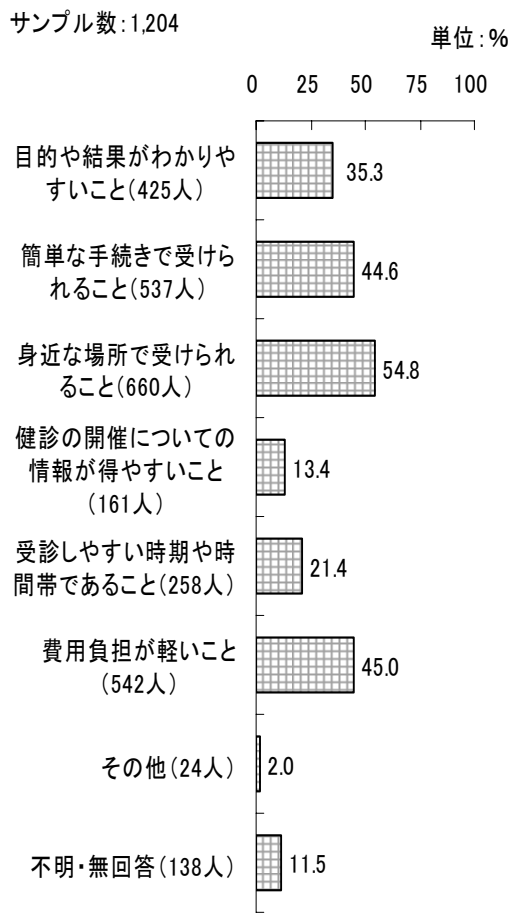
定期的に健康診査を受診しているかについてたずねたところ、「受診している」が 56.8%で多くなっています。



■ あなたが健康診査を受けやすい条件は、次のうちどれですか。（○はいくつでも）

●「身近な場所で受けられること」が最も多い

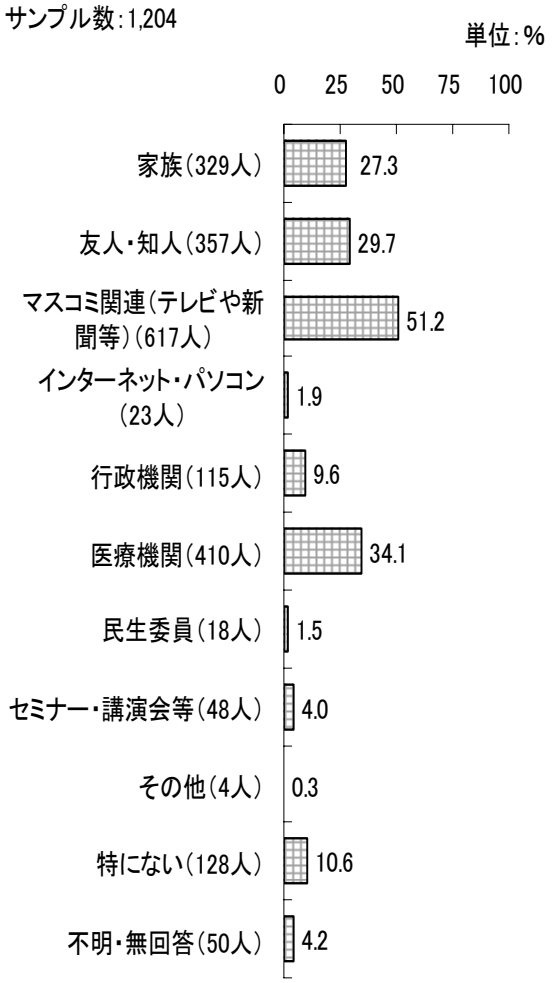
健康診査を受けやすい条件についてたずねたところ、「身近な場所で受けられること」が 54.8%で最も多く、次いで「費用負担が軽いこと」が 45.0%、「簡単な手続きで受けられること」が 44.6%となっています。



■ 健康に関する情報を、どこから入手していますか。（○はいくつでも）

●「マスコミ関連」が最も多い

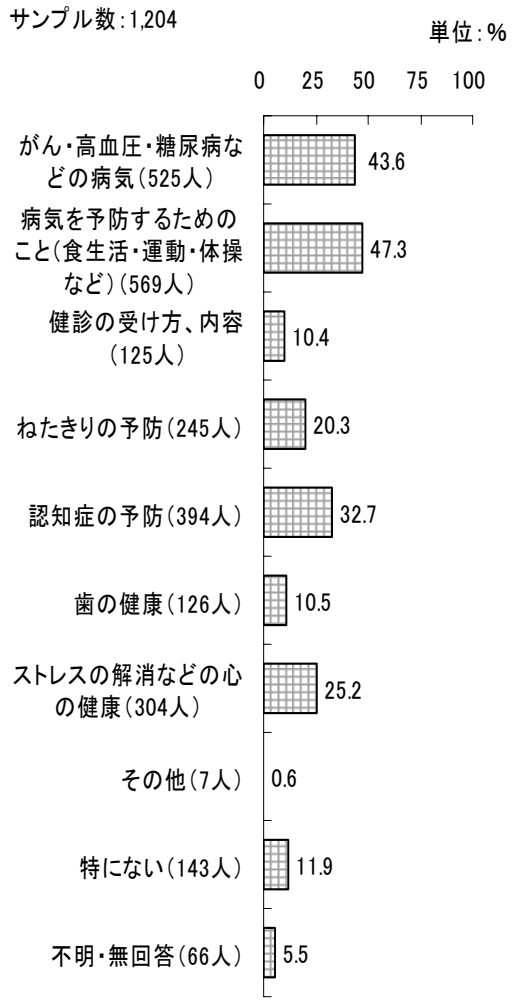
健康に関する情報の入手先についてたずねたところ、「マスコミ関連（テレビや新聞等）」が 51.2%で最も多く、次いで「医療機関」が 34.1%、「友人・知人」が 29.7%となっています。



■　健康について知りたいことは何ですか。（○はいくつでも）

●「病気を予防するためのこと」が最も多い

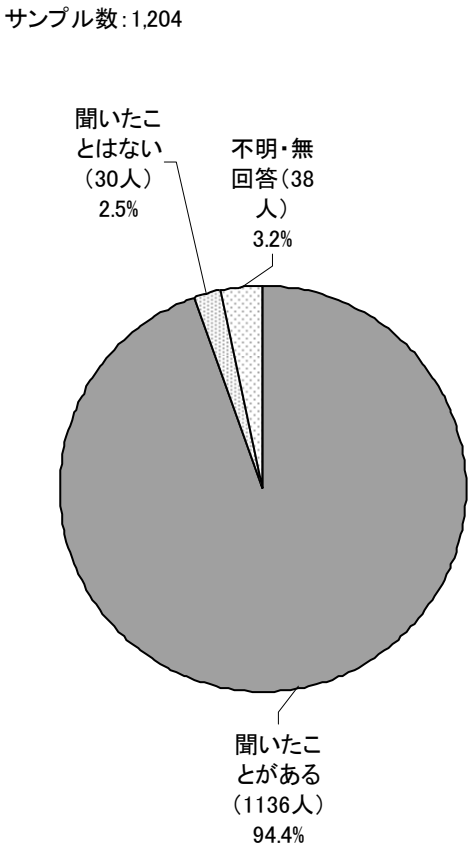
健康について知りたいことをたずねたところ、「病気を予防するためのこと（食生活・運動・体操など）」が 47.3%で最も多く、次いで「がん・高血圧・糖尿病などの病気」が 43.6%、「認知症の予防」が 32.7%となっています。



■　あなたは、「認知症」という言葉を聞いたことがありますか。（○は1つ）

●「聞いたことがある」が多い

「認知症」という言葉を聞いたことがあるかをたずねたところ、「聞いたことがある」が 94.4%で多くなっています。

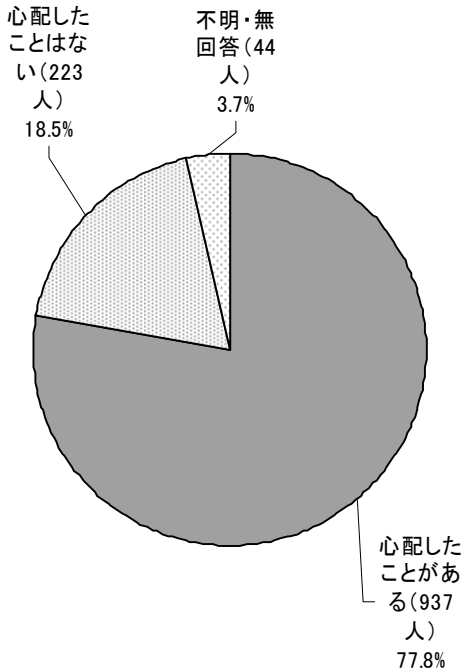


■　あなたは、あなた自身及び家族が認知症になったとき、どうしたらいいか心配したことがありますか。（○は1つ）

●「心配したことがある」が多い

あなた自身及び家族が認知症になったとき、心配したことがあるかたずねたところ、「心配したことがある」が 77.8%で多くなっています。

サンプル数：1,204



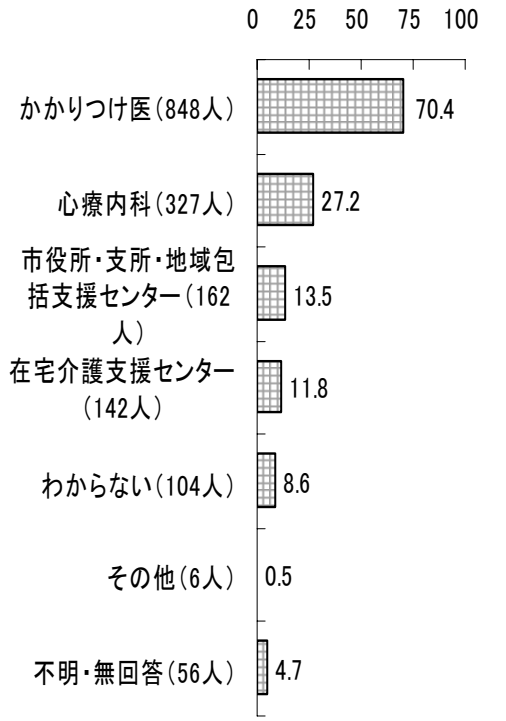
■　あなたは、あなた自身及び家族が認知症の疑いがあるとき、どこにいきますか。（○はいくつでも）

●「かかりつけ医」が最も多い

あなた自身及び家族に認知症の疑いがあるとき、どこにいくかたずねたところ、「かかりつけ医」が 70.4%で最も多く、次いで「心療内科」が 27.2%、「市役所・支所・地域包括支援センター」が 13.5%となっています。

サンプル数：1,204

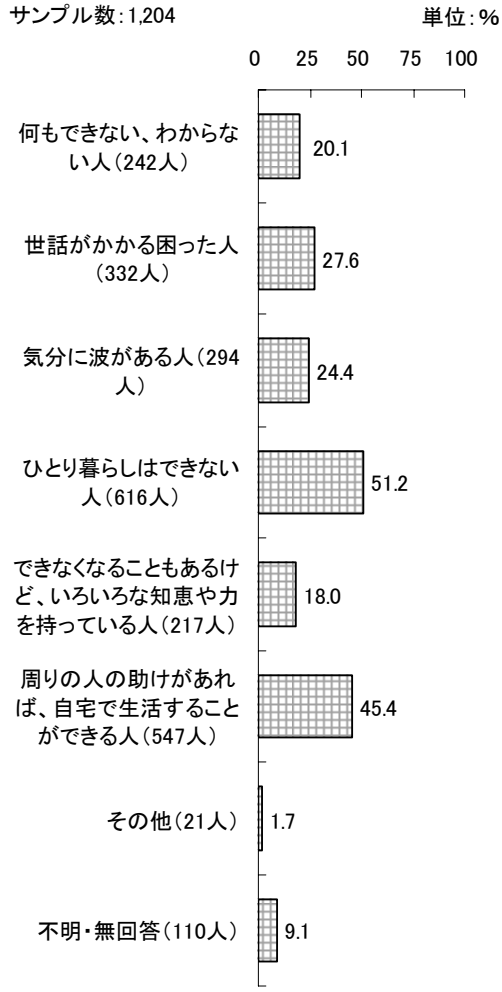
単位：%



■ あなたは、「認知症」の人たちにどんな印象を持っていますか。（○はいくつでも）

●「ひとり暮らしはできない人」が最も多い

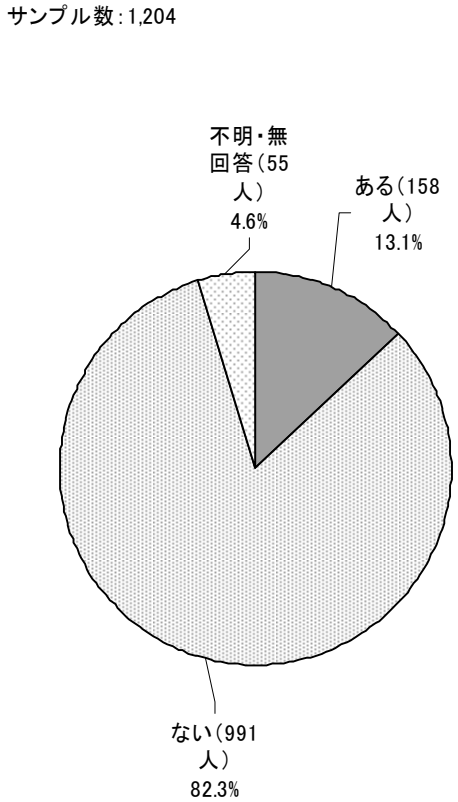
「認知症」の人たちの印象についてたずねたところ、「ひとり暮らしはできない人」が 51.2%で最も多く、次いで「周りの人の助けがあれば、自宅で生活することができる人」が 45.4%、「世話がかかる困った人」が 27.6%となっています。



■ あなたは、これまで、近隣で「高齢者虐待」の事例を見聞きしたことがありますか。（○は1つ）

●「ある」が 13.1%いる

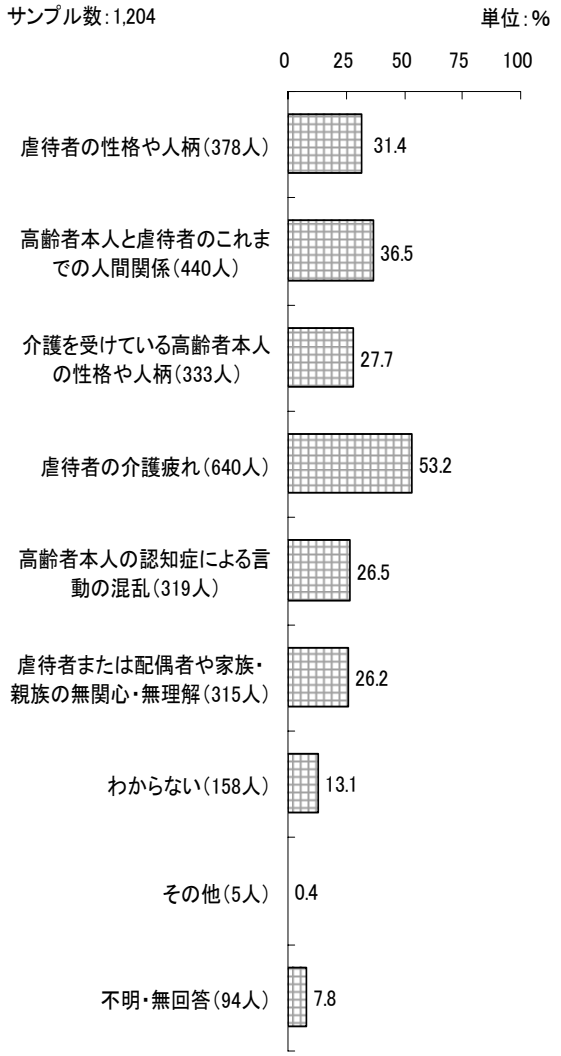
近隣で「高齢者虐待」の事例を見聞きしたことがあるかたずねたところ、13.1%の人が「ある」と回答しています。



■　あなたは、高齢者虐待の発生要因は何だと思いますか。（○はいくつでも）

●「虐待者の介護疲れ」が最も多い

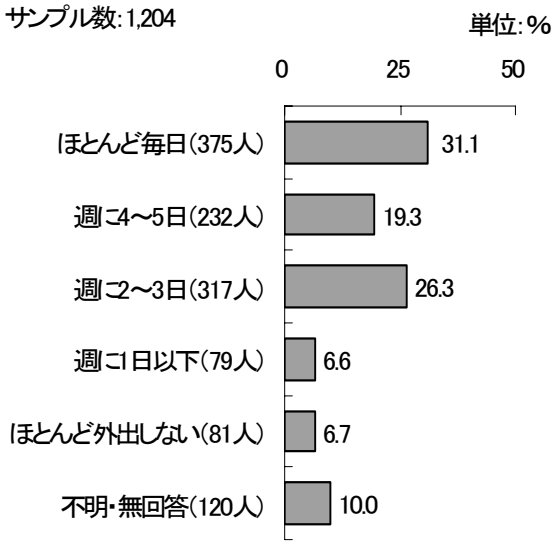
高齢者虐待の発生要因についてたずねたところ、「虐待者の介護疲れ」が 53.2%で最も多く、次いで「高齢者本人と虐待者のこれまでの人間関係」が 36.5%、「虐待者の性格や人柄」が 31.4%となっています。



■　一週間のうち、ふだん、どのくらい外出されますか。（○は1つ）

●「ほとんど毎日」が最も多い

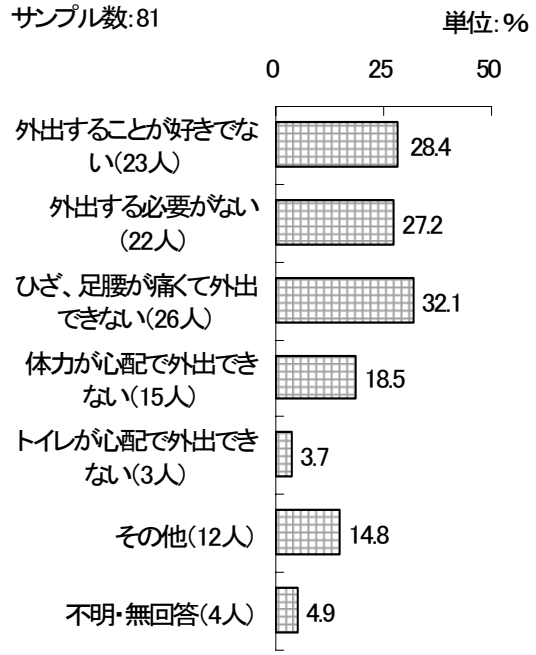
一週間の外出頻度についてたずねたところ、「ほとんど毎日」が 31.1%で最も多く、次いで「週に２～３日」が 26.3%、「週に４～５日」が 19.3%となっています。



■ あまり外出しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

●「ひざ、足腰が痛くて外出できない」が最も多い

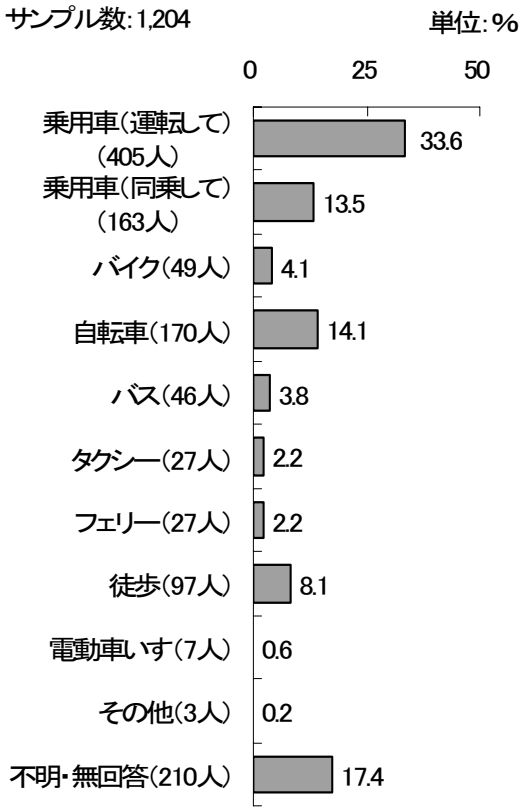
「ほとんど外出しない」と回答した人に対し、その理由についてたずねたところ、「ひざ、足腰が痛くて外出できない」が 32.1%で最も多く、次いで「外出することが好きでない」が 28.4%、「外出する必要がない」が 27.2%となっています。



■ 外出するときの主な交通手段は何ですか。（○は1つ）

●「乗用車（運転して）」が最も多い

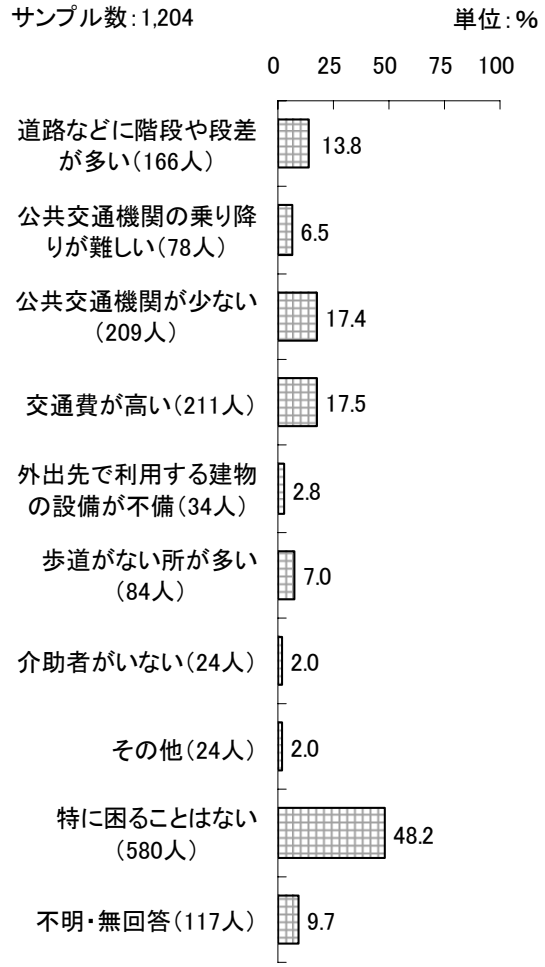
外出時の主な交通手段についてたずねたところ、「乗用車（運転して）」が 33.6%で最も多く、次いで「自転車」が 14.1%、「乗用車（同乗して）」が 13.5%となっています。



■　外出する際、困ることはありますか。（○はいくつでも）

●「特に困ることはない」が最も多い

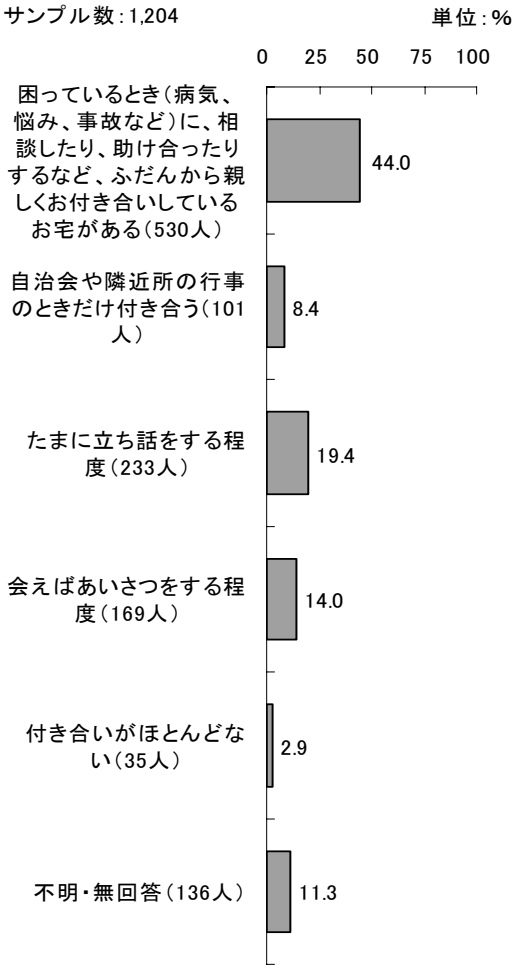
外出する際、困ることについてたずねたところ、「特に困ることはない」が48.2%で最も多く、次いで「交通費が高い」が17.5%、「公共交通機関が少ない」が17.4%となっています。



■　近隣の人との交流の状況について教えてください。（○は1つ）

●「困っているときに、相談したり、助け合ったりするなど、ふだんから親しくお付き合いしているお宅がある」が最も多い

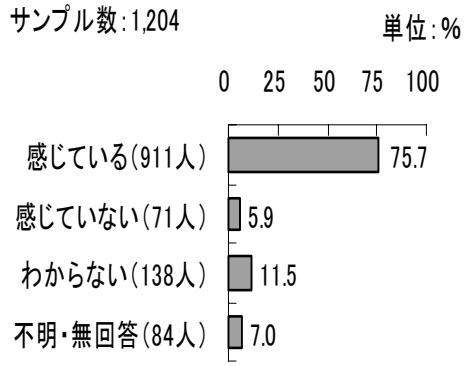
近隣の人との交流の状況についてたずねたところ、「困っているときに、相談したり、助け合ったりするなど、ふだんから親しくお付き合いしているお宅がある」が44.0%で最も多く、次いで「たまに立ち話をする程度」が19.4%、「会えばあいさつをする程度」が14.0%となっています。



■　あなたは、生きがいを感じていますか。（生活の支えとなるものがありますか）（○は1つ）

●「感じている」が最も多い

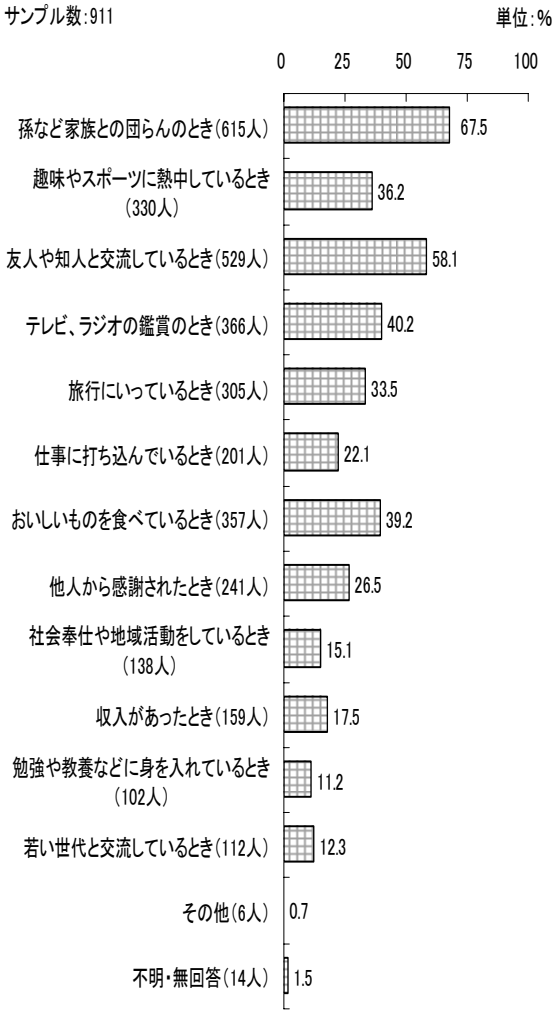
生きがいを感じているかについてたずねたところ、「感じている」が 75.7%で最も多く、次いで「わからない」が 11.5%となっています。



■　どのようなときに生きがいを感じますか。（○はいくつでも）

●「孫など家族との団らんのとき」が最も多い

生きがいを「感じている」と回答した方に対し、生きがいを感じるときについてたずねたところ、「孫など家族との団らんのとき」が 67.5%で最も多く、次いで「友人や知人と交流しているとき」が 58.1%となっています。

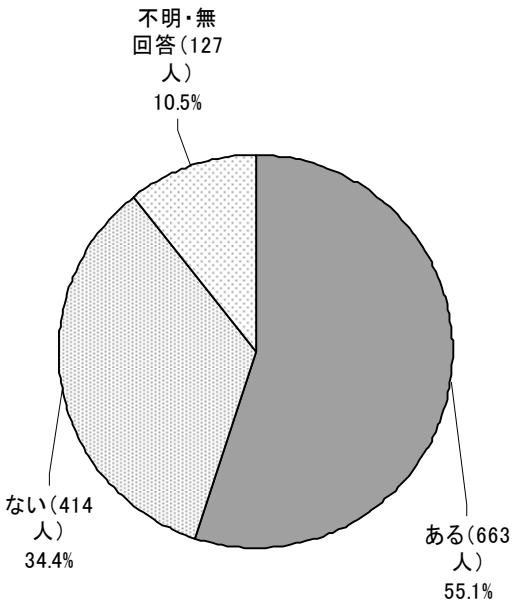


■ ふだんの生活の中で悩みごとや心配ごとはありますか。（○は1つ）

●「ある」が多い

ふだんの生活の中で悩みごとや心配ごとがあるかについてたずねたところ、「ある」が 55.1%で多くなっています。

サンプル数：1,204

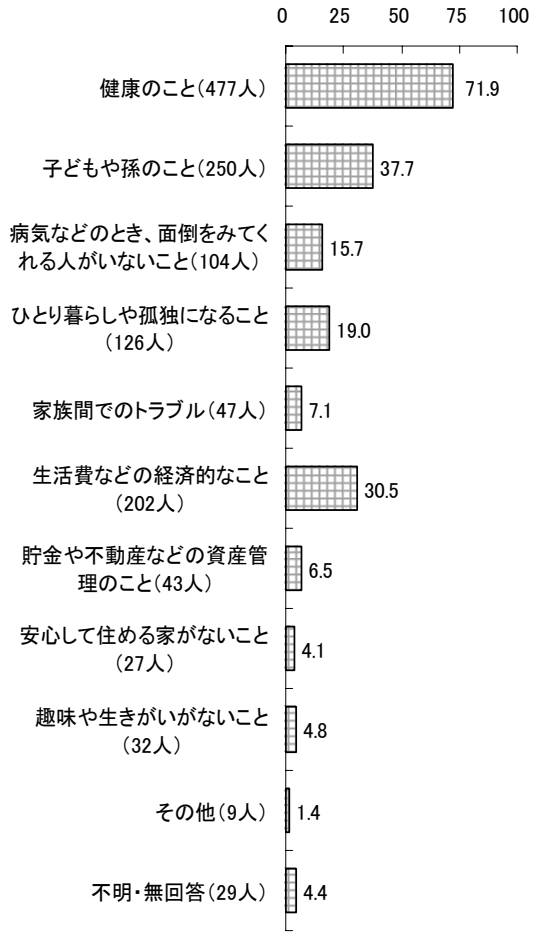


■ それは何ですか。（○はいくつでも）

●「健康のこと」が最も多い

悩みごとや心配ごとが「ある」と回答した人に対し、ふだんの生活の中の悩みごとや心配ごとについてたずねたところ、「健康のこと」が 71.9%で最も多く、次いで「子どもや孫のこと」が 37.7%、「生活費などの経済的なこと」が 30.5%となっています。

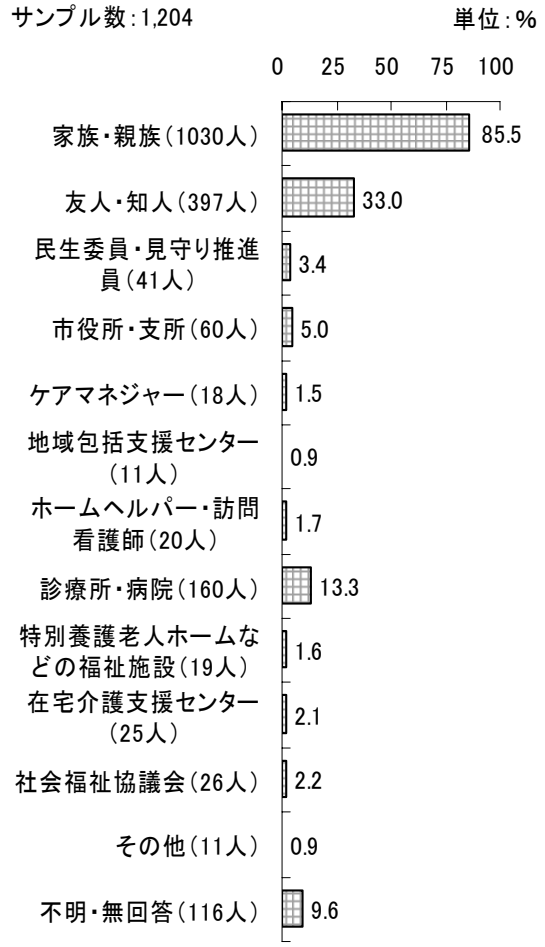
サンプル数：663　　単位：%



■　生活を送るうえで相談できる人は誰ですか。（○はいくつでも）

●「家族・親族」が最も多い

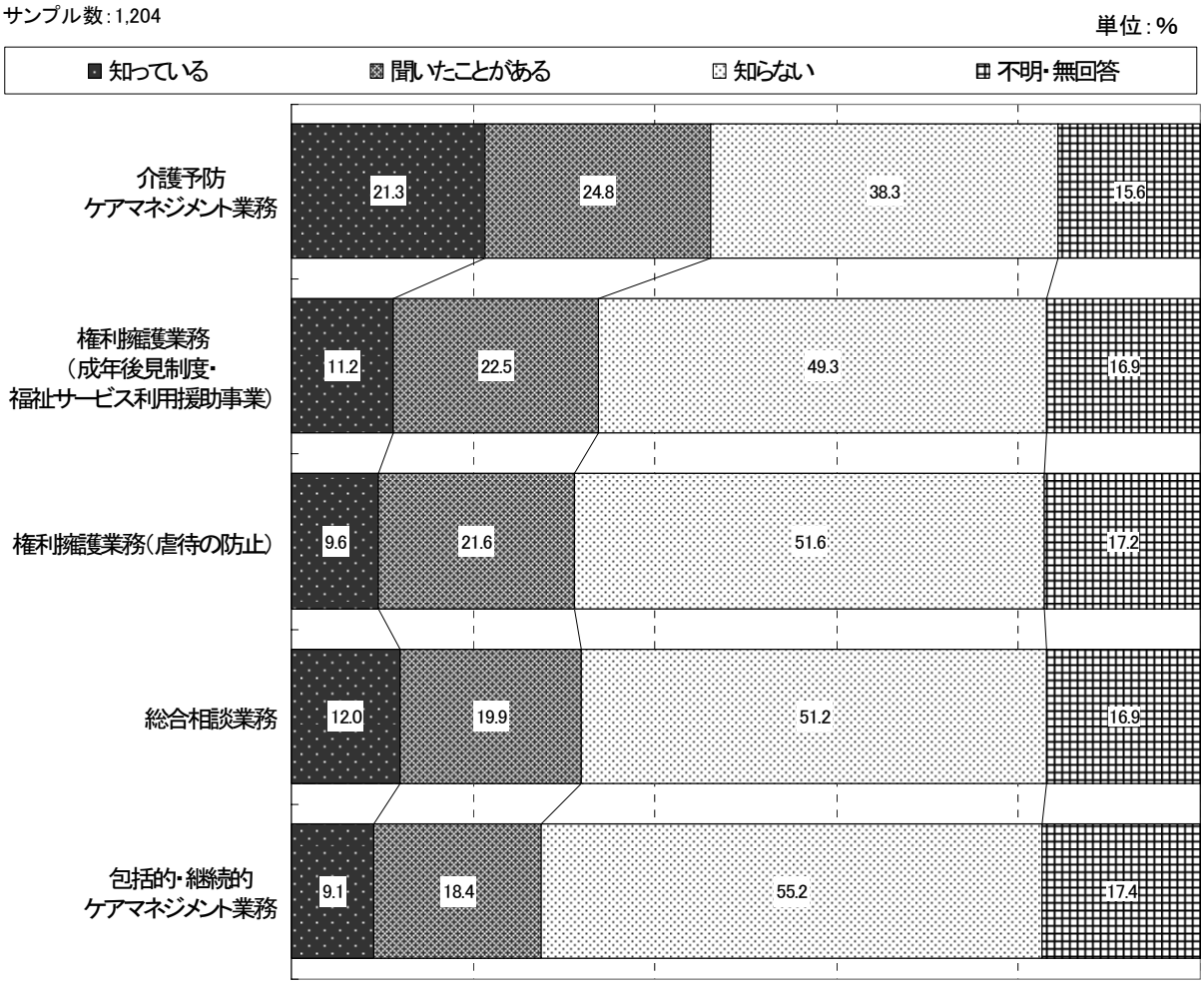
生活を送るうえで相談できる人についてたずねたところ、「家族・親族」が85.5%で最も多く、次いで「友人・知人」が 33.0%、「診療所・病院」が 13.3%となっています。



■ 「今治市地域包括支援センター」において、以下の事業を行っていることを知っていますか。（それぞれに○）

●「知らない」が多い

「今治市地域包括支援センター」で行っている事業についてたずねたところ、すべての事業について「知らない」が多くなっています。

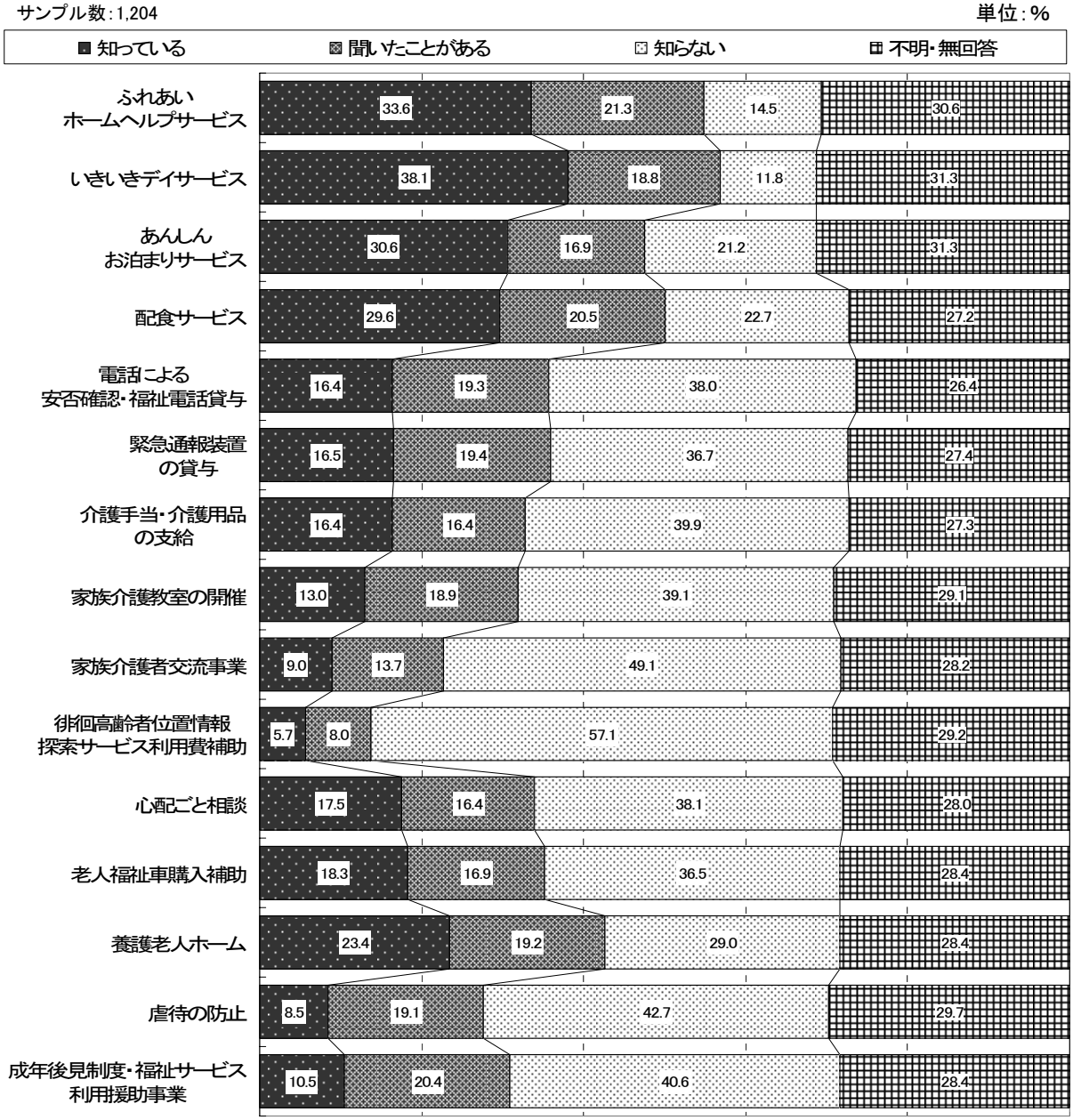


※　用語説明（Ｐ64）参照

■　福祉サービスについておたずねします。以下の福祉サービスを知っていますか。（それぞれに○）

●「いきいきデイサービス」の認知度が最も多い

今後利用したい福祉サービスの認知度についてたずねたところ、「いきいきデイサービス」が 38.1％と最も多く、次いで「ふれあいホームヘルプサービス」が 33.6％、「あんしんお泊まりサービス」が 30.6％となっています。

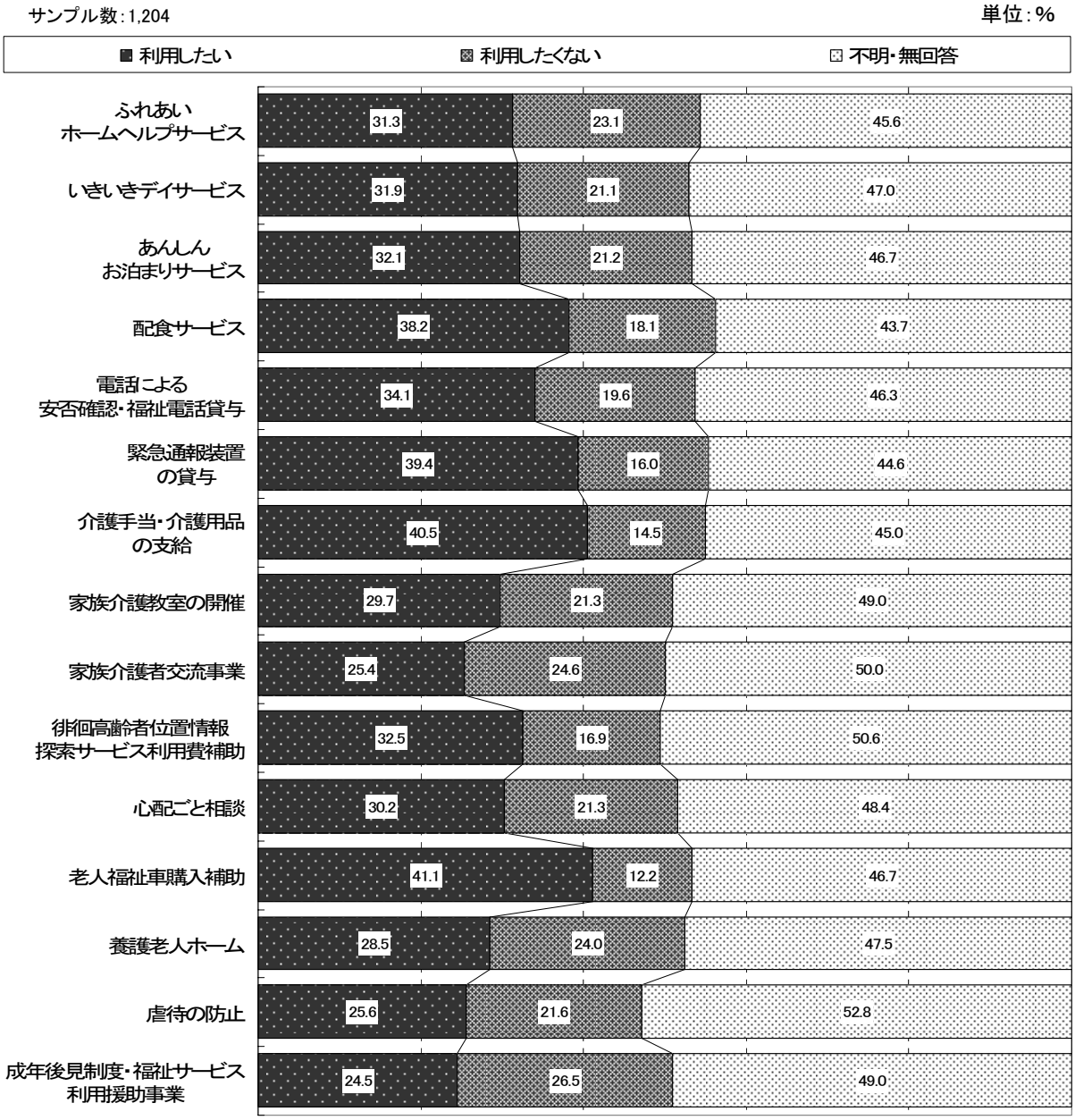


※　用語説明（Ｐ64～65）参照

■　福祉サービスについておたずねします。今後利用したい福祉サービスは何ですか。（それぞれに○）

●「老人福祉車購入補助」の利用意向が最も多い

今後利用したい福祉サービスの利用意向についてたずねたところ、「老人福祉車購入補助」が 41.1%と最も多く、次いで「介護手当・介護用品の支給」が 40.5%、「緊急通報装置の貸与」が 39.4%となっています。

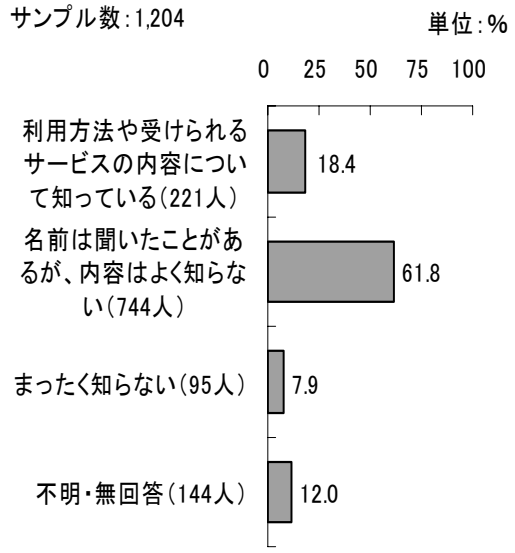


※　用語説明（Ｐ64～65）参照

■　平成 12 年4月から実施された介護保険について知っていますか。（○は1つ）

●「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が多い

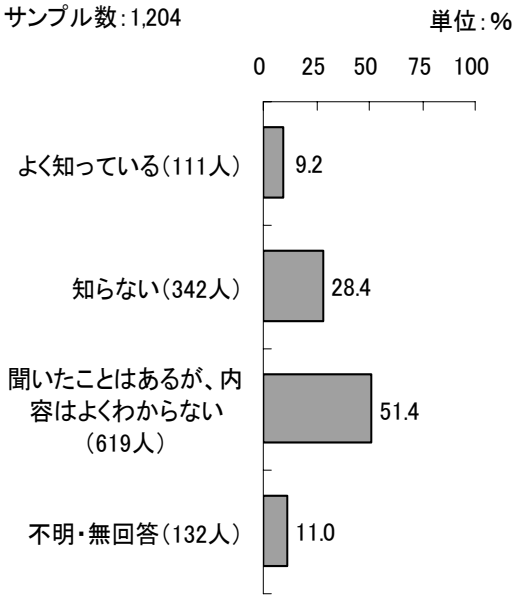
介護保険について知っているかたずねたところ、「名前は聞いたことがあるが、内容はよく知らない」が 61.8%で最も多く、次いで「利用方法や受けられるサービスの内容について知っている」が 18.4%となっています。



■　あなたは、介護予防事業の取り組みを知っていますか。（介護予防事業とは、介護が必要な状態になることを防いだり、介護が必要になっても、それ以上状態が悪化しないようにする取り組みのことです）（○は1つ）

●「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が多い

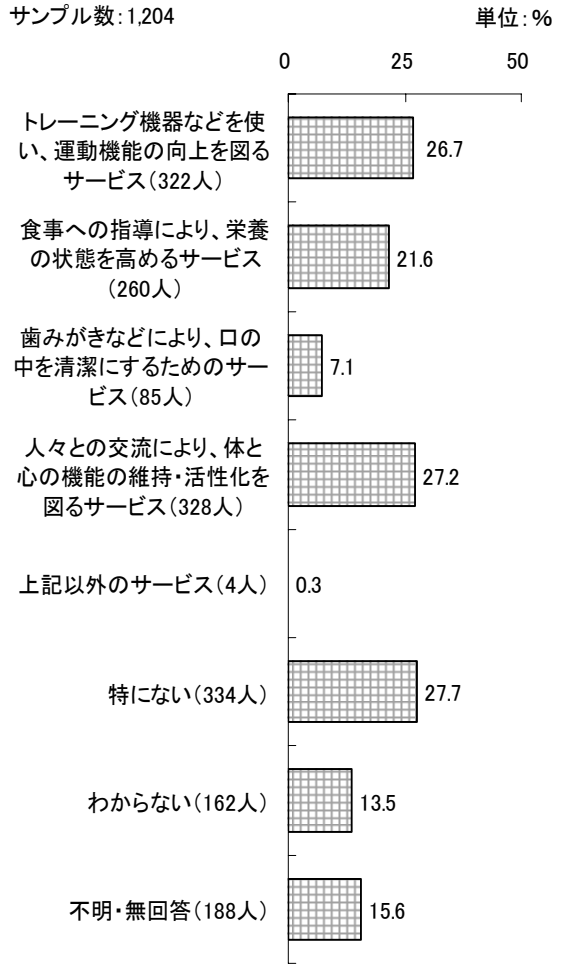
介護予防事業の取り組みの認知度についてたずねたところ、「聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が 51.4%で最も多く、次いで「知らない」が 28.4%となっています。



■　要支援・要介護状態の改善や悪化防止を目的として、以下のサービスが実施されています。利用したいサービスはありますか。（○はいくつでも）

●「特にない」が最も多い

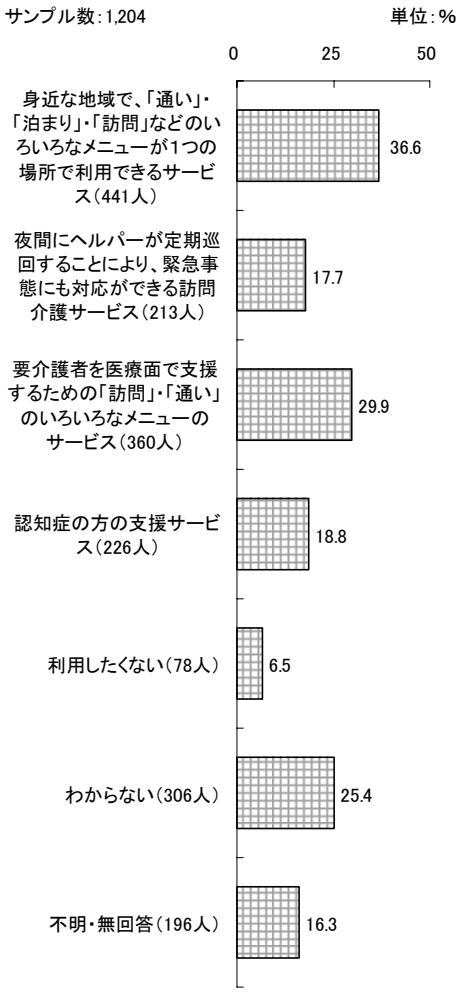
要支援・要介護状態の改善や悪化防止を目的としたサービスの利用意向についてたずねたところ、「特にない」が 27.7%で最も多く、次いで「人々との交流により、体と心の機能の維持・活性化を図るサービス」が 27.2%、「トレーニング機器などを使い、運動機能の向上を図るサービス」が 26.7%となっています。



■　高齢者に身近な生活圏域での利用を基本とした、以下のサービスが実施されています。どのサービスを利用したいと思いますか。（○はいくつでも）

●「身近な地域で、『通い』・『泊まり』・『訪問』などのいろいろなメニューが１つの場所で利用できるサービス」が最も多い

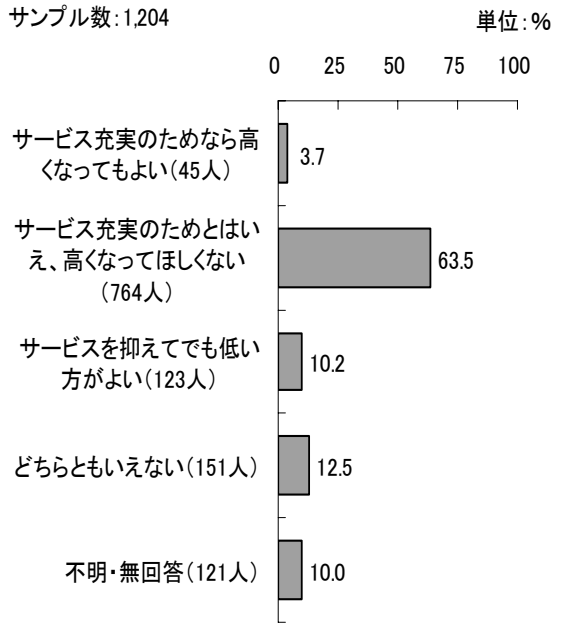
高齢者に身近な生活圏域での利用を基本としたサービスの利用意向をたずねたところ、「身近な地域で、『通い』・『泊まり』・『訪問』などのいろいろなメニューが１つの場所で利用できるサービス」が 36.6%で最も多く、次いで「要介護者を医療面で支援するための『訪問』・『通い』のいろいろなメニューのサービス」が 29.9%となっています。



■ 介護保険料についてどのように思いますか。（○は1つ）

●「サービス充実のためとはいえ、高くなってほしくない」が多い

介護保険料についてたずねたところ、「サービス充実のためとはいえ、高くなってほしくない」が 63.5%で最も多くなっています。

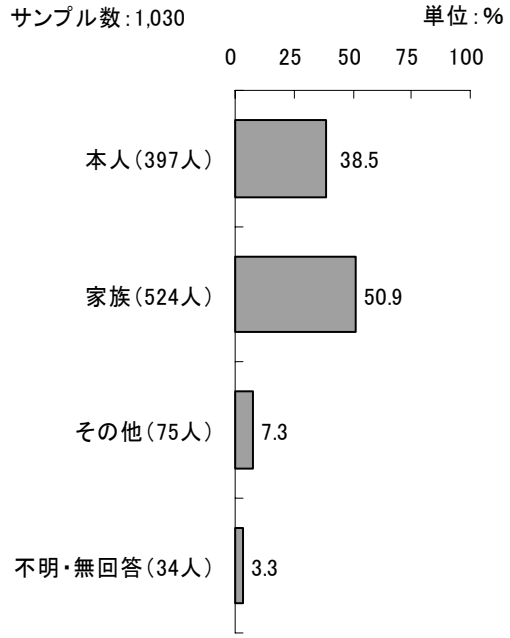


3. 要支援・要介護認定者

■ このアンケートに、ご記入いただく方はどなたですか。（○は1つ）

●「家族」が多い

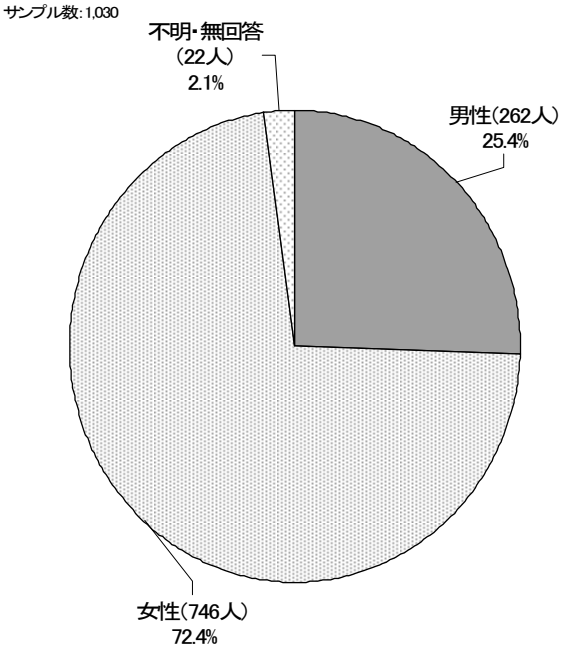
回答者についてたずねたところ、「家族」が 50.9%で最も多く、次いで「本人」が 38.5%となっています。



■ あなた（あて名のご本人：以下の問も同じです）の性別はどちらですか。（○は1つ）

●「女性」が多い

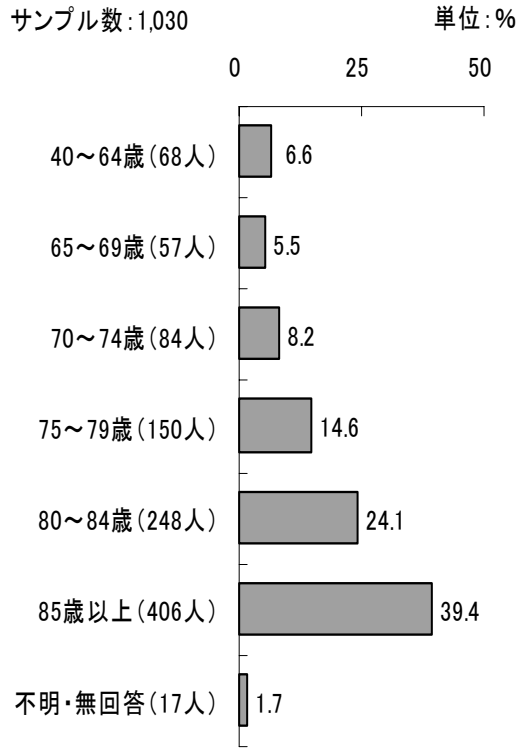
性別についてたずねたところ、「女性」が 72.4%で多くなっています。



■ あなたの年齢を教えてください。（○は1つ）

●「85 歳以上」が最も多い

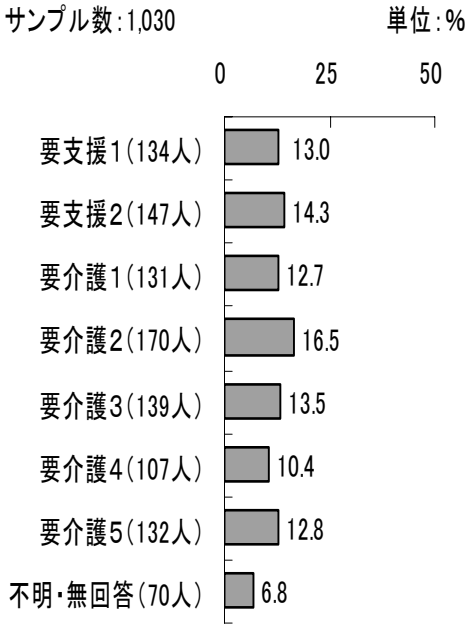
年齢についてたずねたところ、「85 歳以上」が 39.4%で最も多く、次いで「80～84 歳」が 24.1%、「75～79 歳」が 14.6%となっています。



■ あなたの要介護度は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

●「要介護2」が最も多い

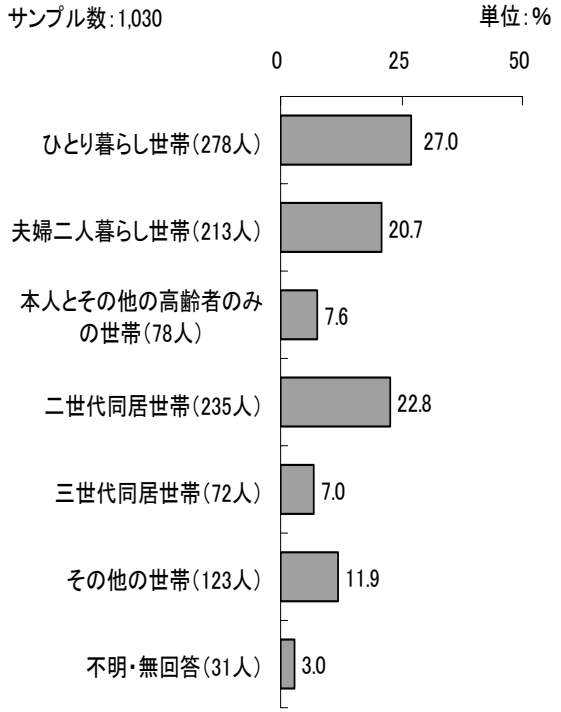
要介護度についてたずねたところ、「要介護２」が 16.5%で最も多く、次いで「要支援２」が 14.3%、「要介護３」が 13.5%となっています。



■　あなたの家族状況は、次のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

●「ひとり暮らし世帯」が最も多い

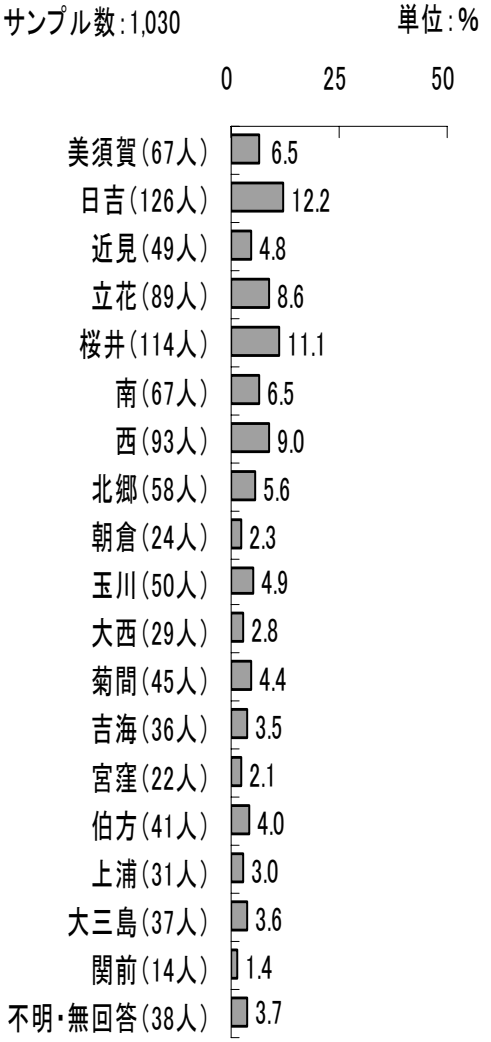
家族状況についてたずねたところ、「ひとり暮らし世帯」が 27.0％と最も多く、次いで「二世代同居世帯」が 22.8％、「夫婦二人暮らし世帯」が 20.7％となっています。



■　あなたがお住まいの中学校区での地域はどちらですか。（○は1つ）

●「日吉」が最も多い

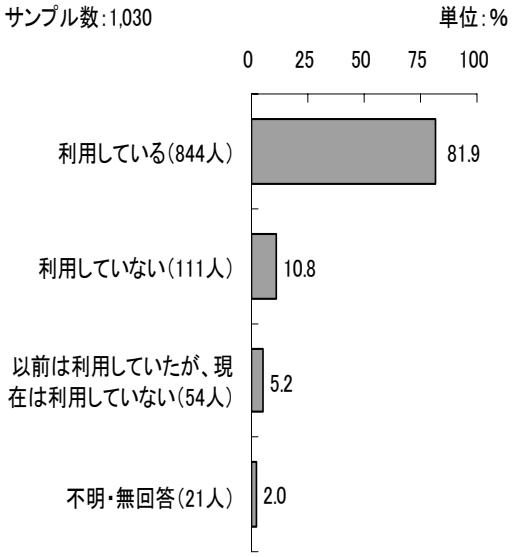
お住まいの中学校区についてたずねたところ、「日吉」が 12.2％で最も多く、次いで「桜井」が 11.1％、「西」が 9.0％となっています。



■　現在、介護サービスを利用されていますか。（○は1つ）

●「利用している」が多い

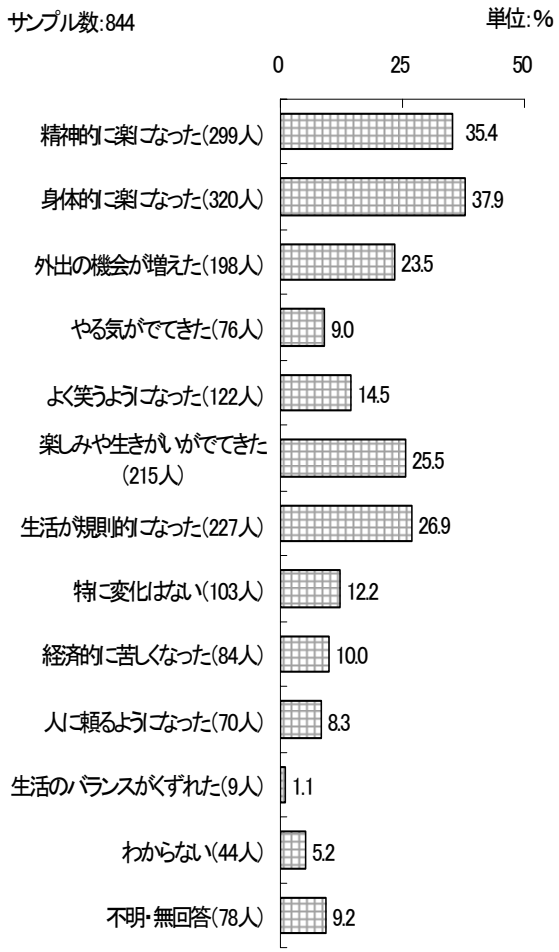
現在、介護サービスを利用しているかたずねたところ、「利用している」が 81.9%と最も多くなっています。



■　介護サービスを利用することにより、あなた自身にどのような変化がありましたか。（○はいくつでも）

●「身体的に楽になった」が最も多い

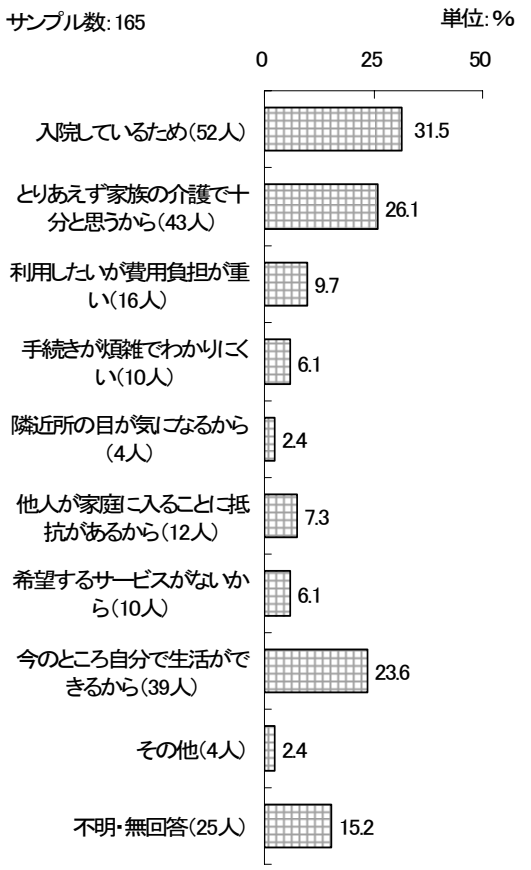
介護サービスを「利用している」と回答した人に対し、利用することによる変化についてたずねたところ、「身体的に楽になった」が 37.9%と最も多く、次いで「精神的に楽になった」が 35.4%、「生活が規則的になった」が 26.9%となっています。



■　サービスを利用していない理由を教えてください。（○はいくつでも）

●「入院しているため」が最も多い

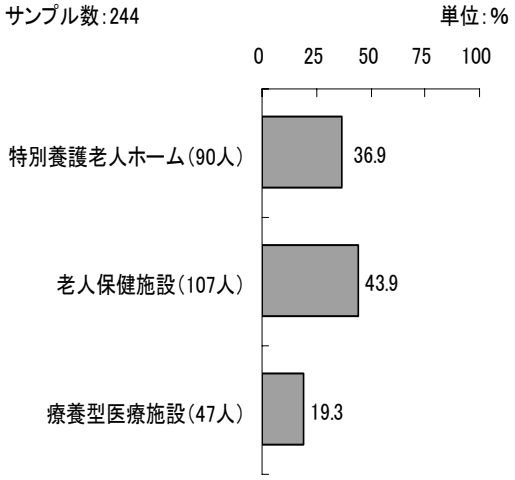
介護サービスを「利用していない」または「以前は利用していたが、現在は利用していない」と回答した人に対しサービスを利用していない理由についてたずねたところ、「入院しているため」が 31.5%で最も多く、次いで「とりあえず家族の介護で十分と思うから」が 26.1%、「今のところ自分で生活できるから」が 23.6%となっています。



■　現在、どこに入所していますか。（○は1つ）

●「老人保健施設」が最も多い

現在入所している施設についてたずねたところ、「老人保健施設」が 43.9%で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が 36.9%となっています。

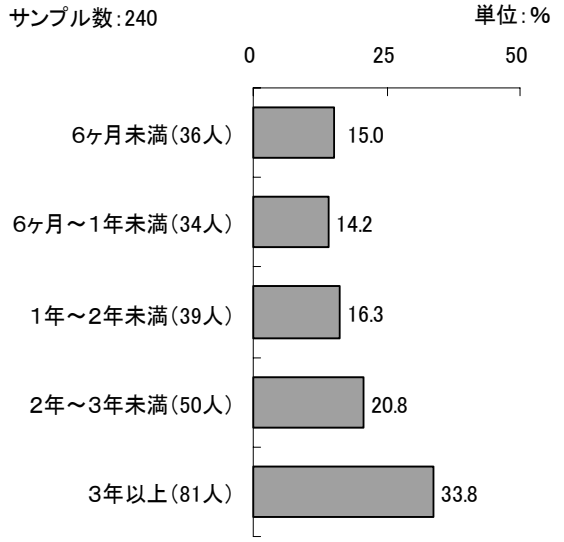


※回答のあったもののみ集計

■　現在の施設に入所している期間はどのくらいですか。（○は1つ）

●「3年以上」が最も多い

施設に入所している期間についてたずねたところ、「3 年以上」が 33.8%で最も多く、次いで「２年～３年未満」が 20.8%、「１年～２年未満」が 16.3%となっています。

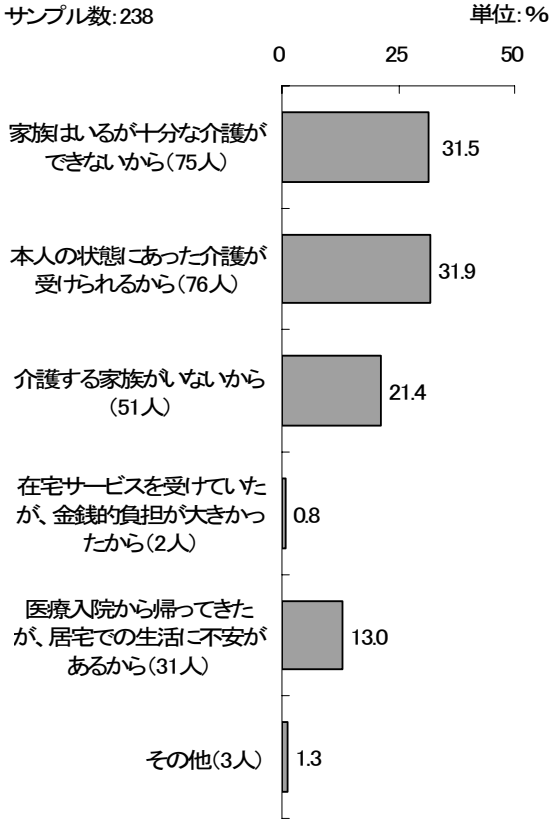


※回答のあったもののみ集計

■　現在利用されている介護保険施設に入所となった主なきっかけは何ですか。（○は1つ）

●「本人の状態にあった介護が受けられるから」が最も多い

介護保険施設入所のきっかけについてたずねたところ、「本人の状態にあった介護が受けられるから」が 31.9%で最も多く、次いで「家族はいるが十分な介護ができないから」が 31.5%となっています。

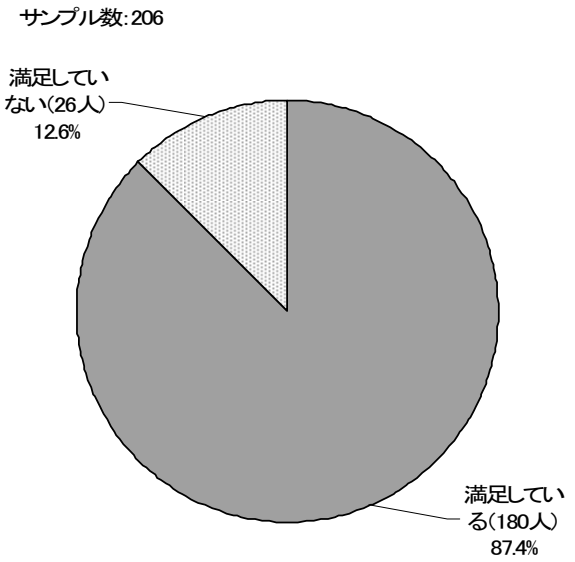


※回答のあったもののみ集計

■ 施設サービスについて満足していますか。（○は1つ）

●「満足している」が多い

施設サービスに対する満足度についてたずねたところ、「満足している」が87.4%と多くなっています。

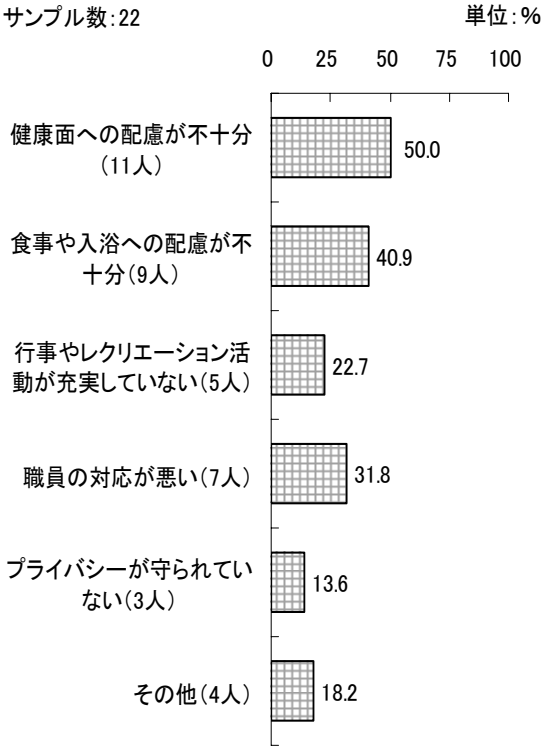


※回答のあったもののみ集計

■ 満足していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

●「健康面への配慮が不十分」が最も多い

満足していない理由についてたずねたところ、「健康面への配慮が不十分」が50.0%で最も多く、次いで「食事や入浴への配慮が不十分」が 40.9%、「職員の対応が悪い」が 31.8%となっています。

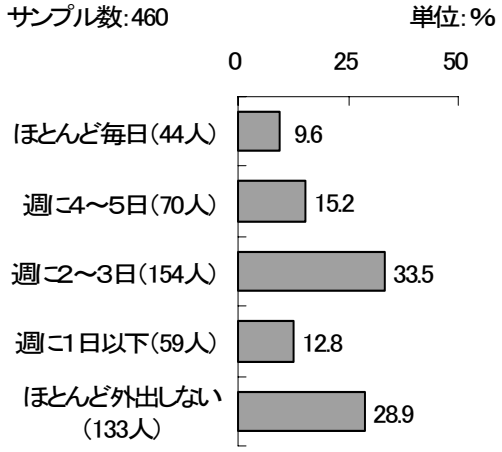


※回答のあったもののみ集計

■　一週間のうち、ふだん、どのくらい外出されますか。（○は1つ）

●「週に2～3日」が最も多い

一週間の外出頻度についてたずねたところ、「週に２～３日」が 33.5%で最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が 28.9%となっています。

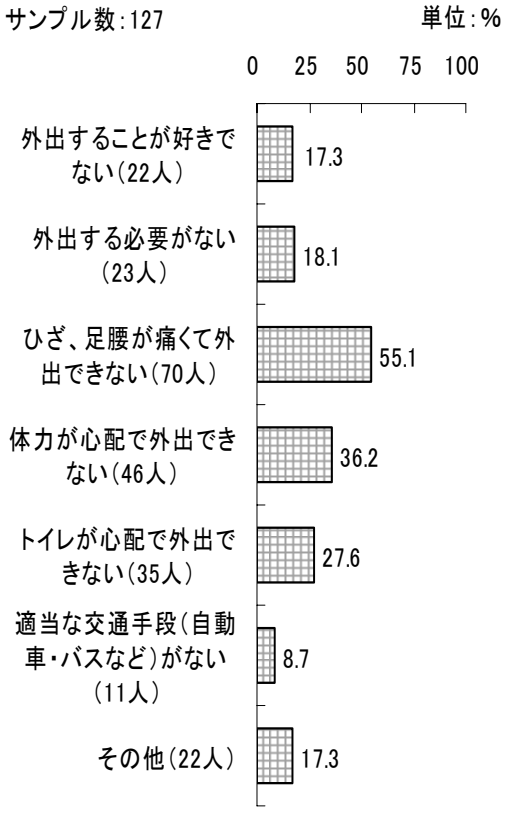


※回答のあったもののみ集計

■　あまり外出しない理由は何ですか。（○はいくつでも）

●「ひざ、足腰が痛くて外出できない」が最も多い

あまり外出しない理由についてたずねたところ、「ひざ、足腰が痛くて外出できない」が 55.1%で最も多く、次いで「体力が心配で外出できない」が 36.2%、「トイレが心配で外出できない」が 27.6%となっています。

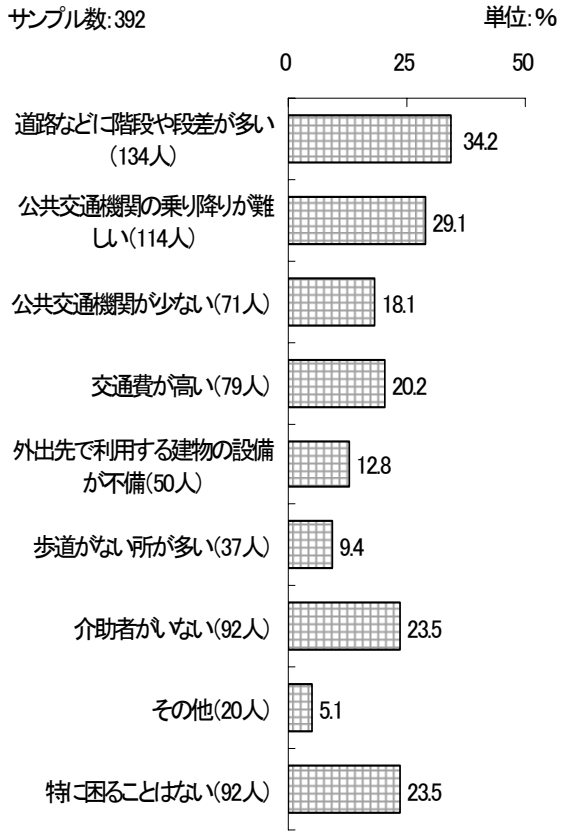


※回答のあったもののみ集計

■　外出する際、困ることはありますか。（○はいくつでも）

●「道路などに階段や段差が多い」が最も多い

外出する際、困ることについてたずねたところ、「道路などに階段や段差が多い」が 34.2%で最も多く、次いで「公共交通機関の乗り降りが難しい」が 29.1%、「介助者がいない」と「特に困ることはない」がともに 23.5%となっています。

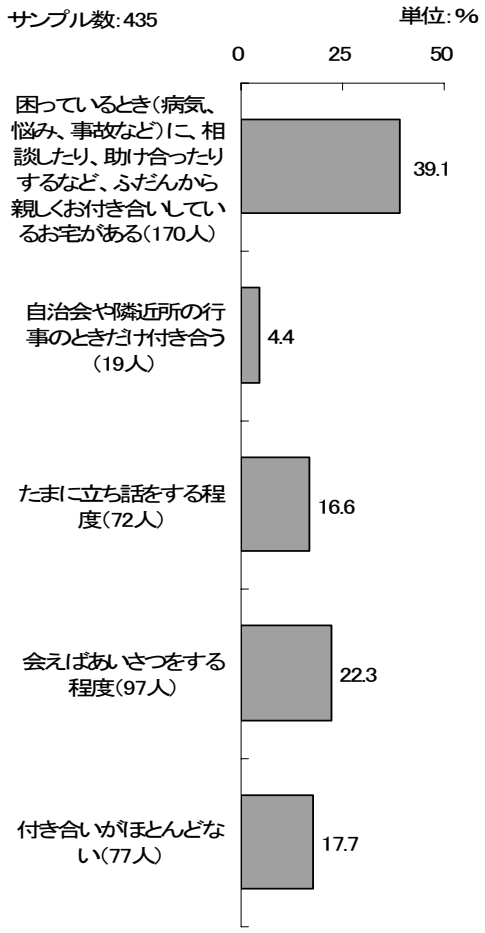


※回答のあったもののみ集計

■　近隣の人との交流の状況について教えてください。（○は1つ）

●「困っているときに、相談したり、助け合ったりするなど、ふだんから親しくお付き合いしているお宅がある」が最も多い

近隣の人との交流の状況についてたずねたところ、「困っているときに、相談したり、助け合ったりするなど、ふだんから親しくお付き合いしているお宅がある」が 39.1%で最も多く、次いで「会えばあいさつをする程度」が 22.3%、「付き合いがほとんどない」が 17.7%となっています。

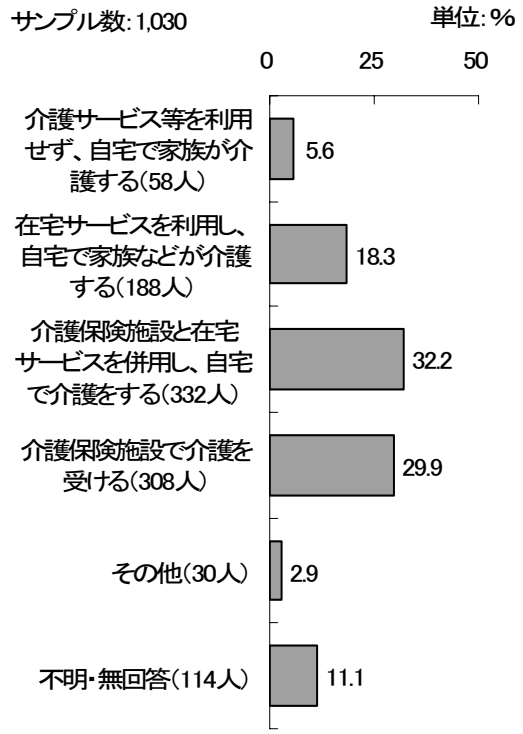


※回答のあったもののみ集計

■ あなたが希望する介護のあり方は、次のうちどれですか。（○は1つ）

●「介護保険施設と在宅サービスを併用し、自宅で介護をする」が最も多い

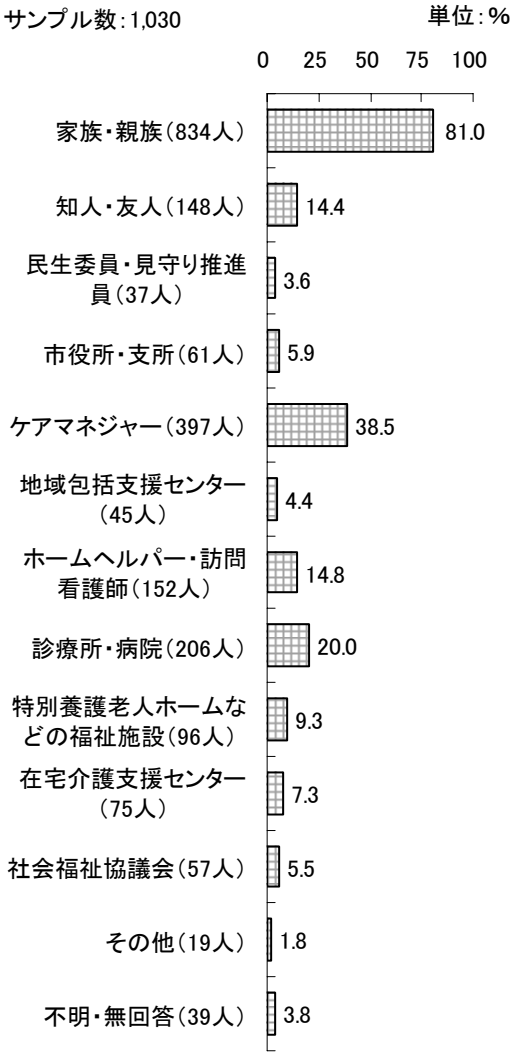
希望する介護のあり方についてたずねたところ、「介護保険施設と在宅サービスを併用し、自宅で介護をする」が 32.2%で最も多く、次いで「介護保険施設で介護を受ける」が 29.9%、「在宅サービスを利用し、自宅で家族などが介護する」が 18.3%となっています。



■ 生活を送るうえで相談できる人は誰ですか。（○はいくつでも）

●「家族・親族」が最も多い

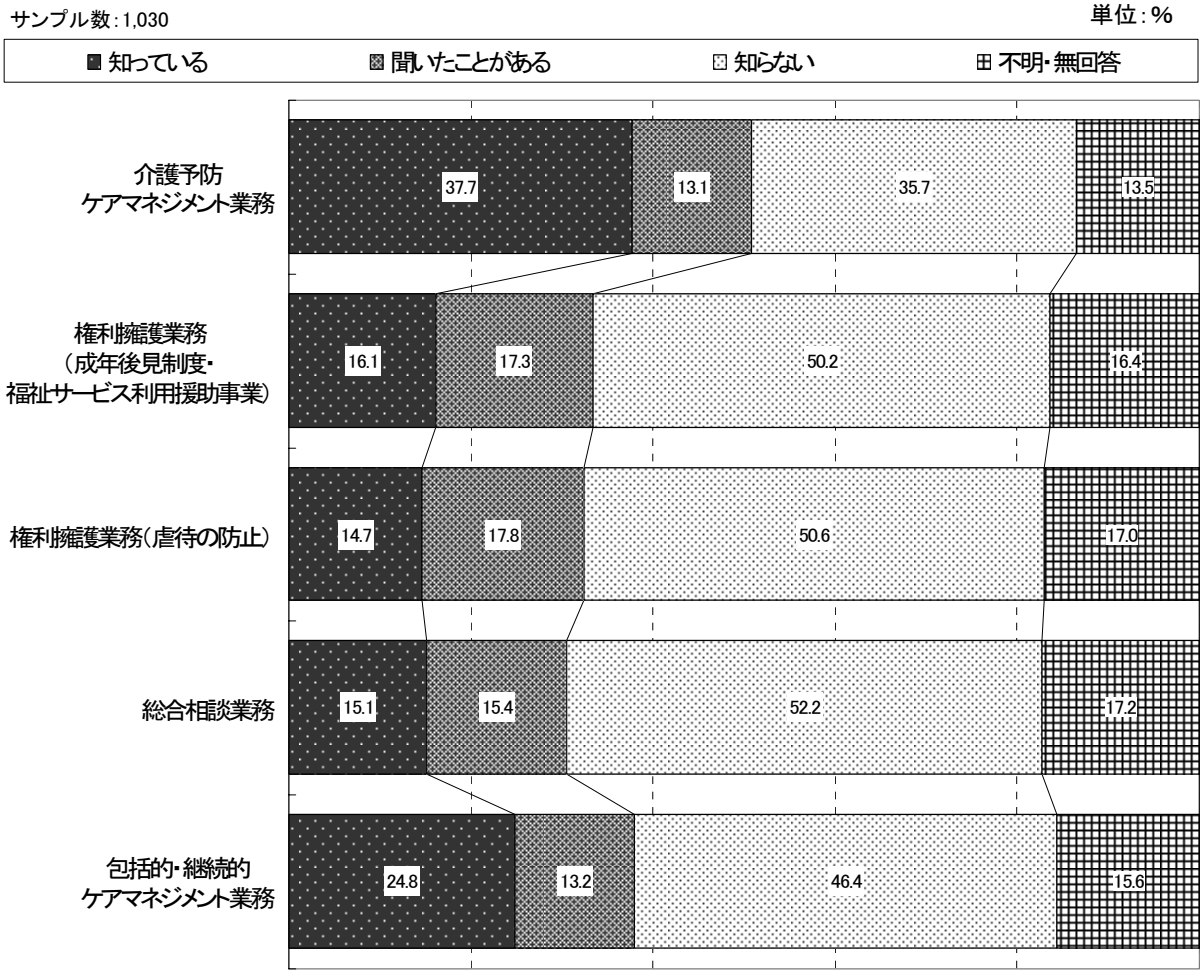
生活を送るうえで相談できる人についてたずねたところ、「家族・親族」が 81.0%で最も多く、次いで「ケアマネジャー」が 38.5%、「診療所・病院」が 20.0%となっています。



■ 「今治市地域包括支援センター」において、以下の事業を行っていることを知っていますか。（それぞれあてはまるものに○）

●「知らない」が多い

今治市地域包括支援センターにおいて行っている事業の認知度についてたずねたところ、「介護予防ケアマネジメント」については「知っている」が「知らない」を上回っているものの、その他の事業はいずれも「知らない」が多くなっています。

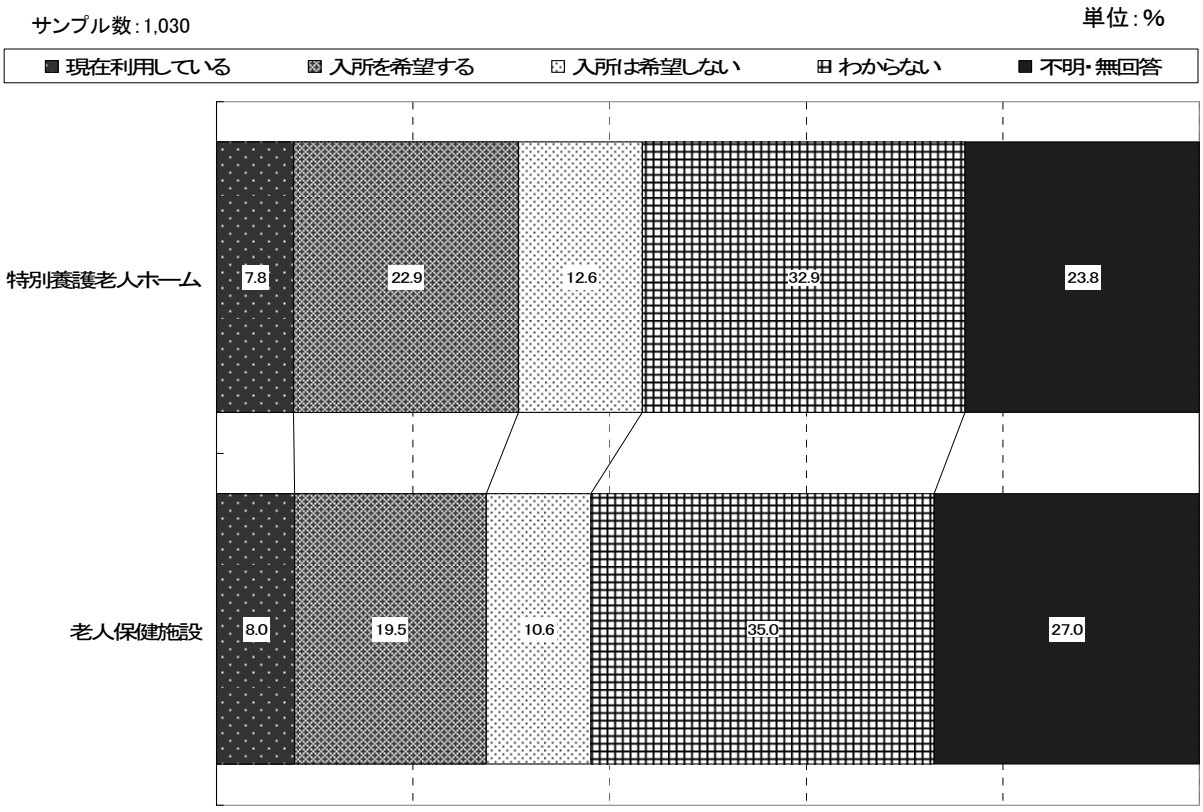


※　用語説明（Ｐ64）参照

■　次の施設サービスについて、今後の利用希望をそれぞれお答えください。（それぞれあてはまるものに○）

●「入所を希望する」が多い

施設サービスの利用希望についてたずねたところ、「入所を希望する」が希望しない人の割合より多くなっています。

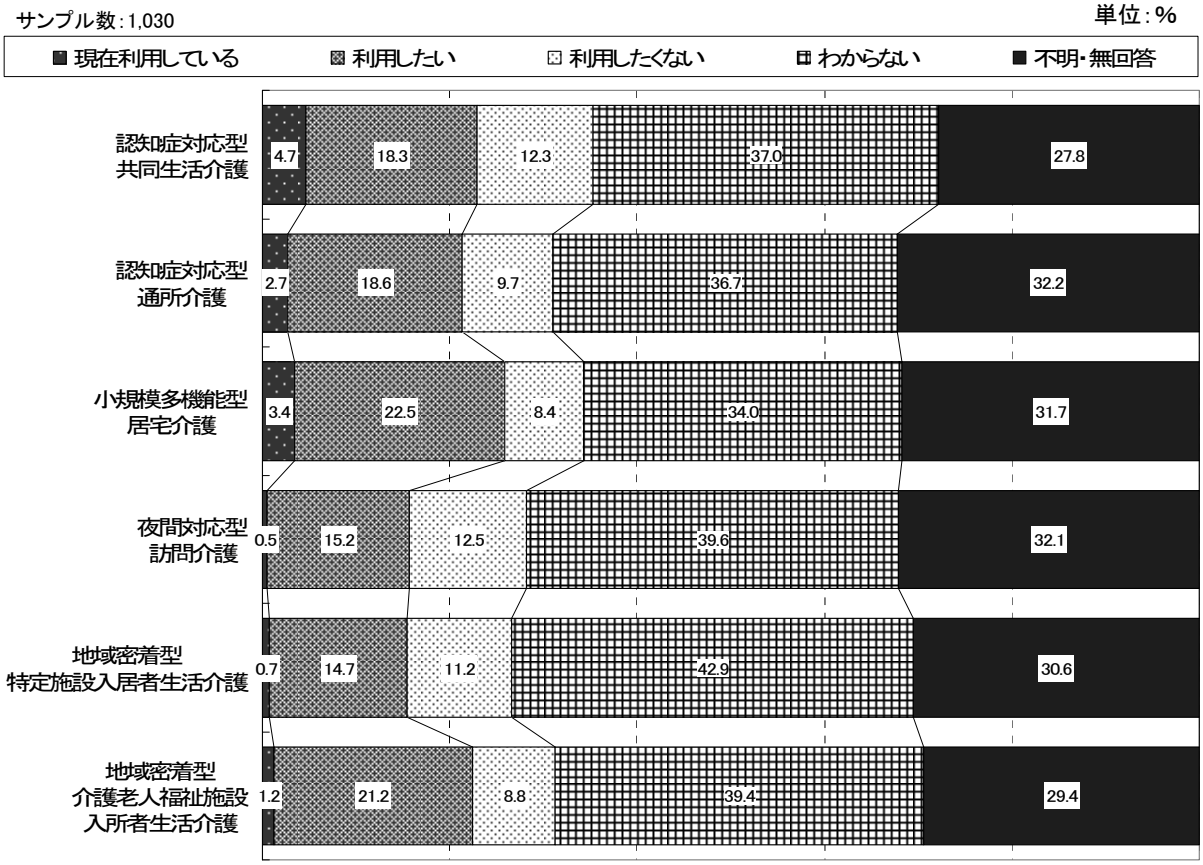


※　用語説明（Ｐ66）参照

■　次の地域密着型サービスについて、今後の利用希望をそれぞれお答えください。（それぞれあてはまるものに○）

●「利用したい」が多い

地域密着型サービスについてたずねたところ、現在利用している人は少ない状況ですが、今後「利用したい」と回答した人が多くなっています。

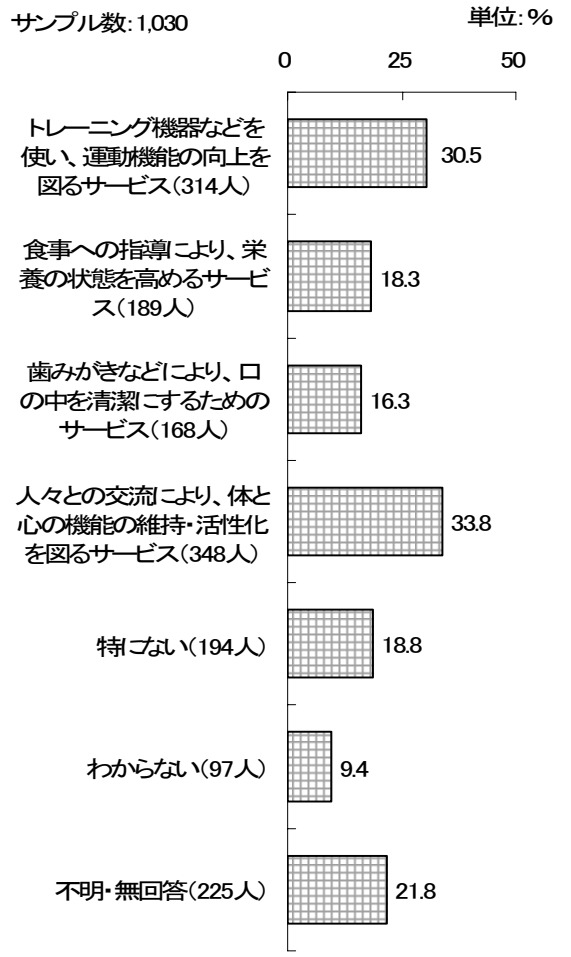


※　用語説明（Ｐ66）参照

■　要支援・要介護状態の改善や悪化防止を目的として、以下の介護予防サービスが実施されています。利用したいサービスはありますか。（○はいくつでも）

●「人々との交流により、体と心の機能の維持・活性化を図るサービス」が最も多い

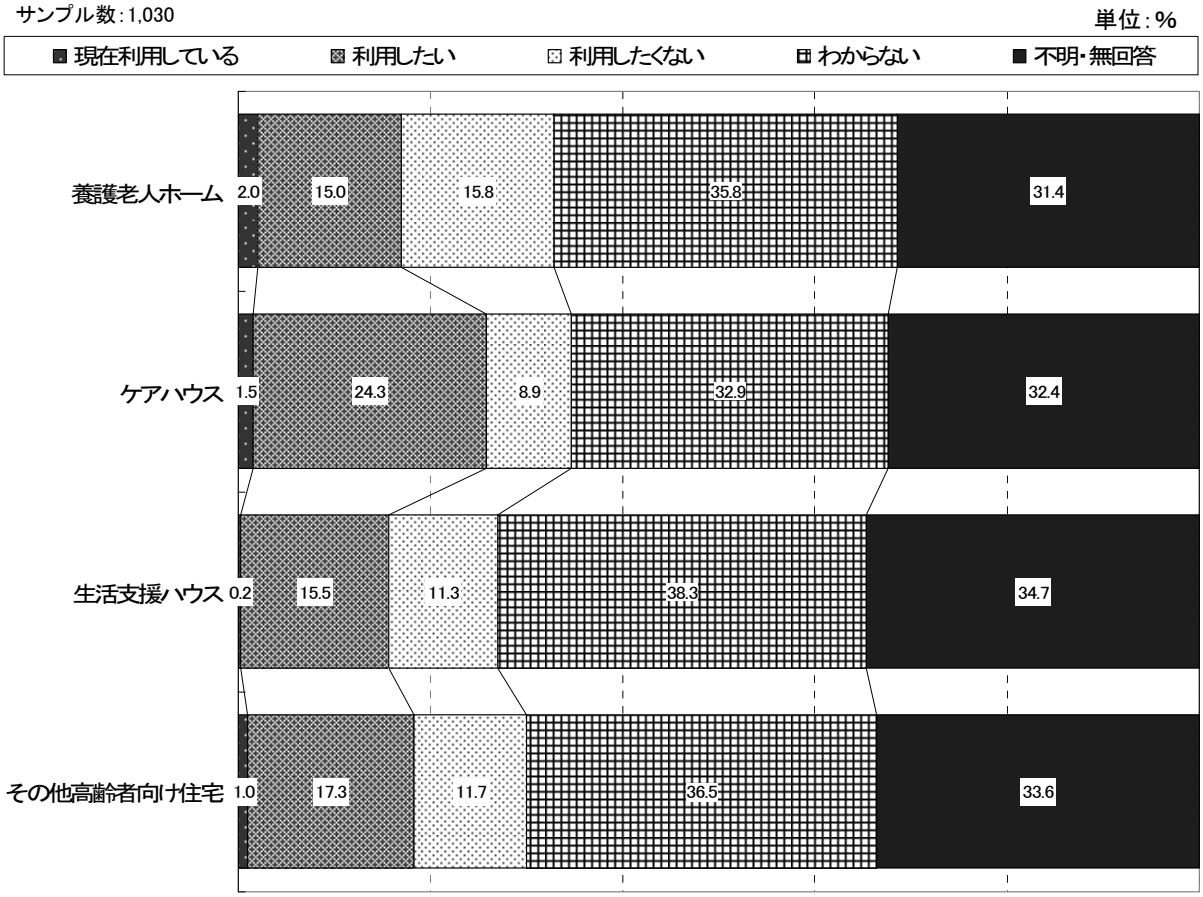
介護予防サービスについてたずねたところ、「人々との交流により、体と心の機能の維持・活性化を図るサービス」が33.8%で最も多く、次いで「トレーニング機器などを使い、運動機能の向上を図るサービス」が30.5%となっています。



■　次の介護保険対象外サービスについて、今後の利用希望をそれぞれお答えください。（それぞれあてはまるものに○）

●「利用したくない」が多い

介護保険対象外サービスの利用希望についてたずねたところ、「利用したくない」が多くなっていますが、「利用したい」施設では、「ケアハウス」が 24.3％で最も多くなっています。

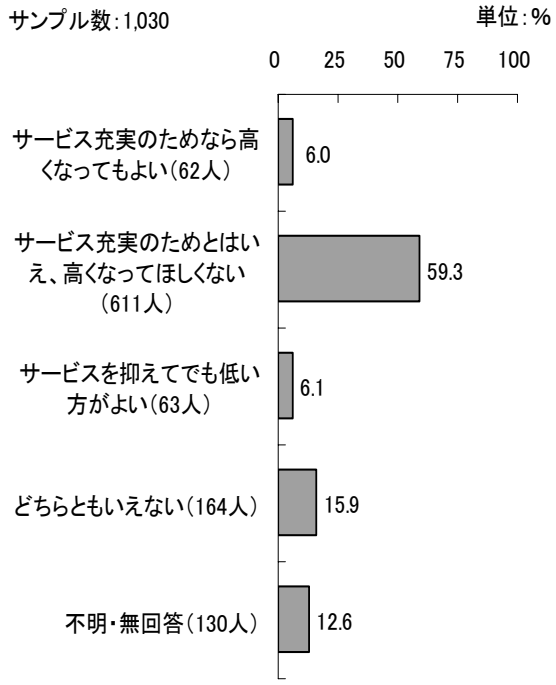


※　用語説明（Ｐ66）参照

■ 介護保険料についてどのように思いますか。（○は1つ）

●「サービス充実のためとはいえ、高くなってほしくない」が多い

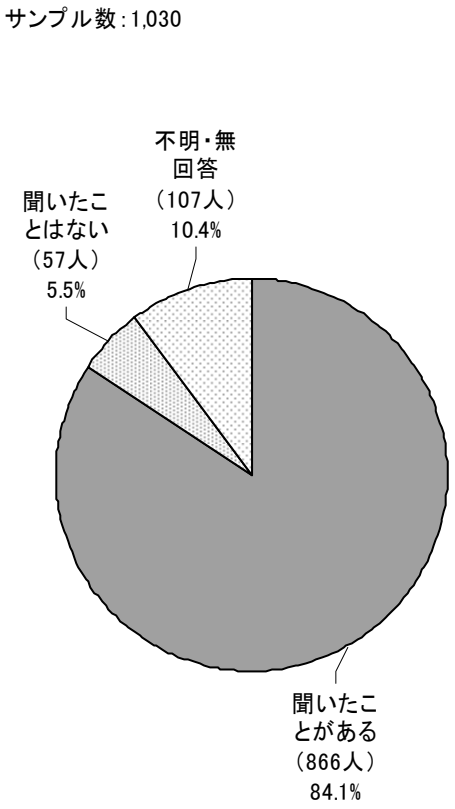
介護保険料についてたずねたところ、「サービス充実のためとはいえ、高くなってほしくない」が 59.3%で最も多くなっています。



■ あなたは、「認知症」という言葉を聞いたことがありますか。（○は1つ）

●「聞いたことがある」が多い

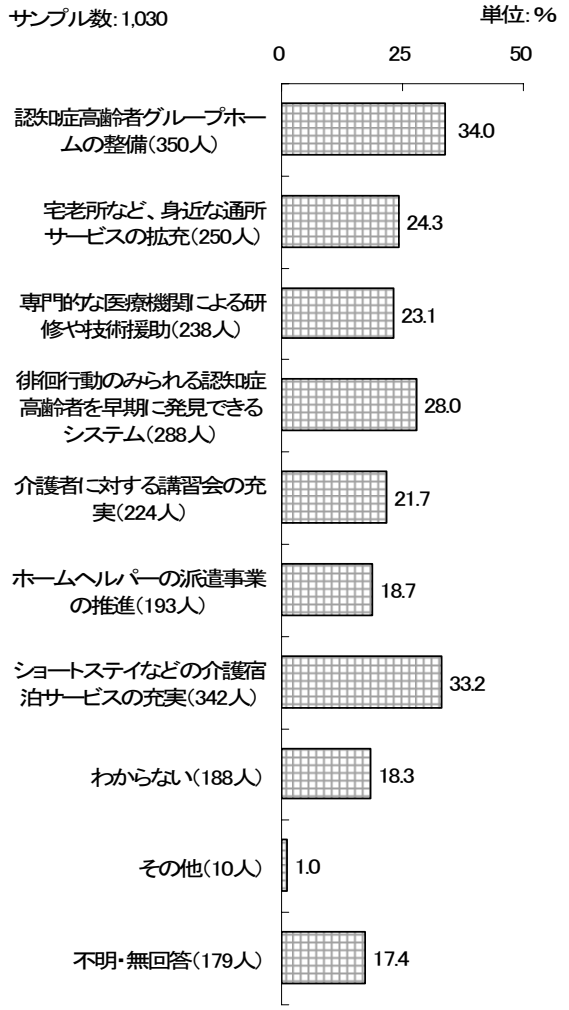
「認知症」という言葉を聞いたことがあるかをたずねたところ、「聞いたことがある」が 84.1%で多くなっています。



■ あなたは、認知症高齢者の介護に必要なサービスはどのようなものと考えますか。（○はいくつでも）

●「認知症高齢者グループホームの整備」が最も多い

認知症高齢者の介護に必要なサービスについてたずねたところ、「認知症高齢者グループホームの整備」が 34.0％で最も多く、「ショートステイなどの介護宿泊サービスの充実」が 33.2％、「徘徊行動のみられる認知症高齢者を早期に発見できるシステム」が 28.0％となっています。

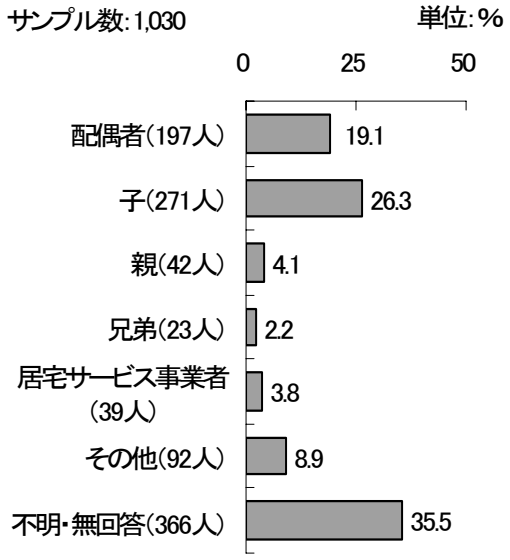


アンケートの回答は、ふだん介護している方におたずねします。

■ ご家庭で主に介護している人は誰ですか

●「子」が最も多い

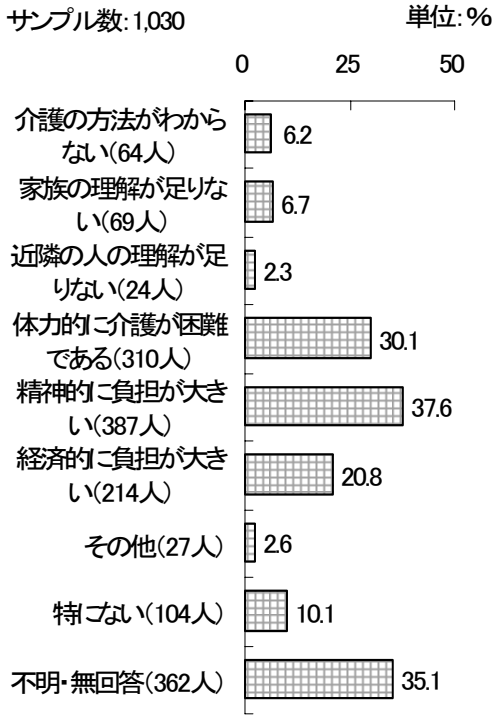
介護者についてたずねたところ、「子」が 26.3%で最も多く、次いで「配偶者」が 19.1%となっています。



■ 介護をするうえで困っていることは何ですか。（○はいくつでも）

●「精神的に負担が大きい」が最も多い

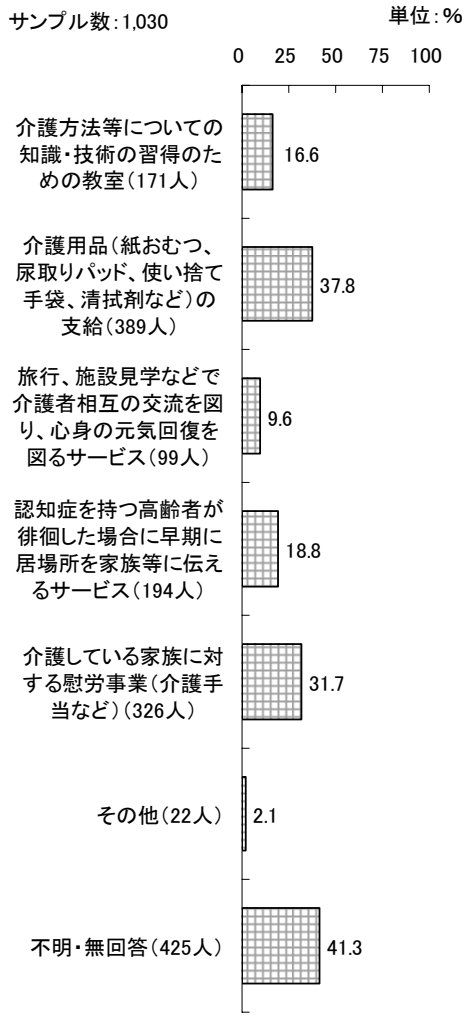
介護をするうえで困っていることについてたずねたところ、「精神的に負担が大きい」が 37.6%で最も多く、次いで「体力的に介護が困難である」が 30.1%、「経済的に負担が大きい」が 20.8%となっています。



■　今後利用したい介護者支援サービスは何ですか。（○はいくつでも）

●「介護用品（紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋、清拭剤など）の支給」が最も多い

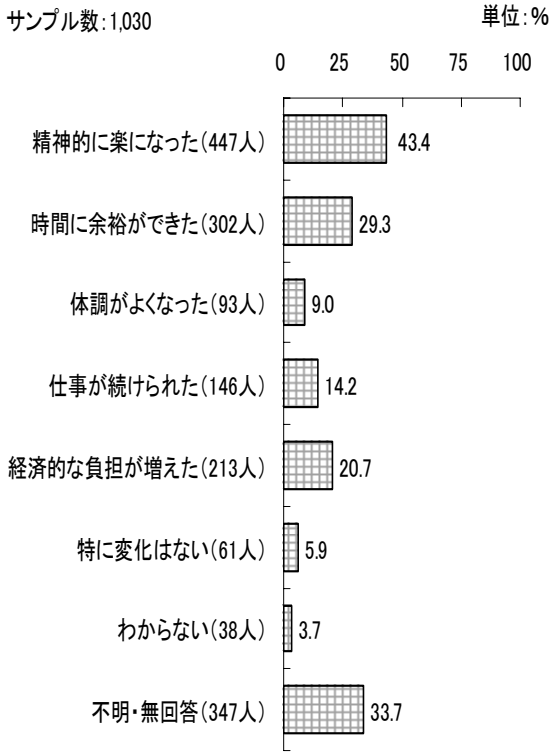
今後利用したい介護者支援サービスについてたずねたところ、「介護用品（紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋、清拭剤など）の支給」が 37.8%で最も多く、次いで「介護している家族に対する慰労事業（介護手当など）」が 31.7%となっています。



■　介護サービスを利用することにより、家族（介護者）の負担はどう変わりましたか。（○はいくつでも）

●「精神的に楽になった」が最も多い

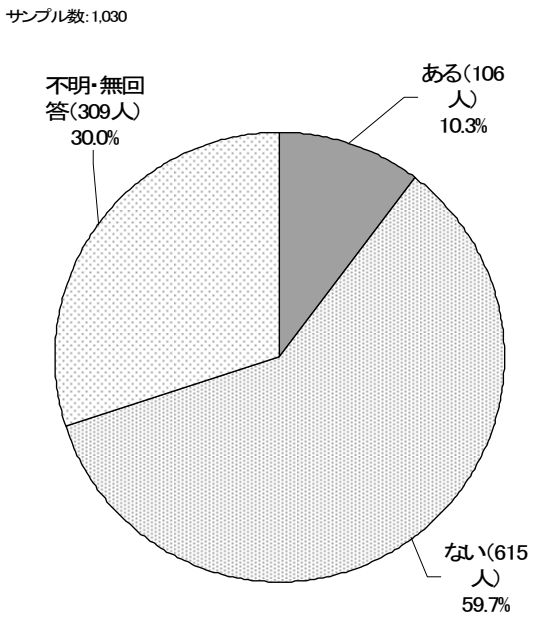
介護サービスを利用することによる家族の負担の変化についてたずねたところ、「精神的に楽になった」が 43.4%で最も多く、次いで「時間に余裕ができた」が 29.3%、「経済的な負担が増えた」が 20.7%となっています。



■ これまで、近隣で「高齢者虐待」の事例を見聞きしたことがありますか。（○は1つ）

●「ある」が 10.3%

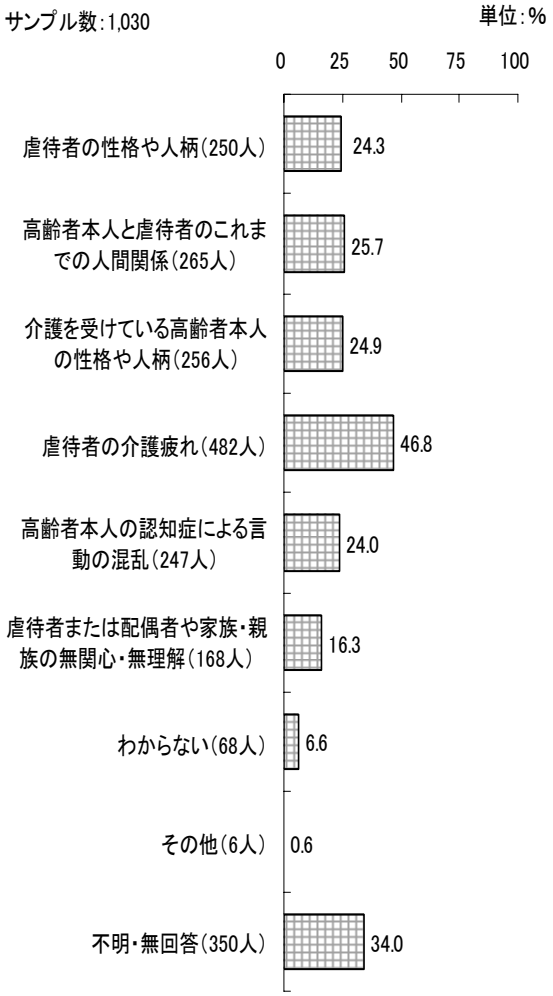
近隣で「高齢者虐待」の事例を見聞きしたことがあるかたずねたところ、10.3%の人が「ある」と回答しています。



■ 介護している経験から、高齢者虐待の発生要因は何だと思いますか。（○はいくつでも）

●「虐待者の介護疲れ」が最も多い

高齢者虐待の発生要因についてたずねたところ、「虐待者の介護疲れ」が 46.8%で最も多く、次いで「高齢者本人と虐待者のこれまでの人間関係」が 25.7%、「介護を受けている高齢者本人の性格や人柄」が 24.9%となっています。



※用語説明

■地域包括支援センターにおける実施業務

介護予防ケアマネジメント業務	自立して生活できるよう支援を行ったり、今の状態にあわせた介護予防の支援を行います
権利擁護業務（成年後見制度・福祉サービス利用援助事業）	介護サービスの利用手続きや財産管理などを行っていくうえで高齢者本人の能力を補い、権利を擁護する制度の利用支援を行います
権利擁護業務（虐待の防止）	「高齢者虐待防止法」に基づいて、虐待の予防・早期発見・把握に努め、対応します
総合相談業務	生活の中で困っていることがあるが､「どこに相談するのかわからない」といった悩みの相談に応じます
包括的・継続的ケアマネジメント業務	地域のケアマネジャーが円滑に仕事ができるように支援や指導を行います

■福祉サービス（※については、要介護認定で非該当に相当する方のみを対象としたサービス）

ふれあいホームヘルプサービス（※）	自宅に週１回ホームヘルパーが訪問し、家事援助・指導や日常生活に関する助言などを行います
いきいきデイサービス（※）	週１回程度デイサービスセンターなどで、入浴・昼食・健康チェックなどが受けられます
あんしんお泊まりサービス（※）	家族が冠婚葬祭などの理由で一時的に介護ができない場合に、老人ホームなどに短期入所できます
配食サービス	食事の調理などが困難なひとり暮らし高齢者などに安否確認を兼ね、食事を届けます
電話による安否確認・福祉電話貸与	ひとり暮らしなどで安否確認の必要な高齢者に対し、定期的に電話をかけて安否確認を行います
緊急通報装置の貸与	虚弱なひとり暮らしなどの高齢者の自宅に、緊急時にボタンひとつで連絡可能な通報機器を無料で貸与します
介護手当・介護用品の支給	ねたきり高齢者の介護者に対して介護手当や紙おむつなどの介護用品を支給します
家族介護教室の開催	介護予防や介護方法、介護者の健康づくりに関する教室を開催します
家族介護者交流事業	旅行や施設見学により、高齢者の介護をしている家族同士の交流の機会をつくり、心身のリフレッシュを図ります

徘徊高齢者位置情報探索サービス利用費補助	徘徊探知機を導入する際の初期経費に対し補助します
心配ごと相談	福祉サービスだけでなく、一般的な悩みや心配ごとといった様々な相談に応じます
老人福祉車購入補助	老人福祉車（手押し車・シルバーカー）を購入した際の購入費に対し補助します
養護老人ホーム	環境、経済的理由などにより、居宅において養護を受けることが困難な方の入所施設です
虐待の防止	「高齢者虐待防止法」に基づいて、虐待の予防・早期発見・把握に努め、対応します
成年後見制度・福祉サービス利用援助事業	介護サービスの利用手続きや財産管理などを行っていくうえで高齢者本人の能力を補い、権利を擁護する制度の利用支援を行います

■在宅サービスの内容

訪問介護（ホームヘルプサービス）	ホームヘルパーが家庭で、日常生活上の世話をします
訪問入浴介護	浴槽を積んだ入浴車などが訪問し、入浴の手助けをします
訪問看護	看護師などが訪問し、療養上の世話や診療の補助を行います
訪問リハビリテーション	家庭で受ける機能回復のための訓練です
居宅療養管理指導	医師・歯科医師・薬剤師などが訪問し、家庭で療養上の管理などを行います
通所介護（デイサービス）	デイサービスセンターに通って、日常生活上の世話や機能訓練を受けます
通所リハビリテーション（デイケア）	医療施設などで機能回復のための訓練を受けます
短期入所生活介護（ショートステイ）	特別養護老人ホームなどへ短期の入所ができます
短期入所療養介護（ショートステイ）	医療施設などへ短期の入所ができます
福祉用具の貸与	車いすやベッドなどの日常生活の自立を助ける用具を借りることができます
福祉用具の購入費の支給	入浴や排せつなどに使用する用具の一定の購入費を支給します
住宅改修費の支給	手すりの取り付けなど、一定の住宅改修費を支給します
特定施設入居者生活介護	有料老人ホームなどに入居している高齢者が、日常生活のケアを受けます

■施設サービスの内容

特別養護老人ホーム	常時介護が必要で居宅での生活が困難な人が入所して、日常生活上のケアを受けることができる施設です
老人保健施設	状態が安定している人が在宅復帰できるようリハビリを中心としたケアを受けることができる施設です

■地域密着型サービスの内容

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	認知症の高齢者が、家庭的な雰囲気の中で共同生活を送ることができるサービスです
認知症対応型通所介護	認知症の人を対象に専門的なケアを提供する通所型のサービスです
小規模多機能型居宅介護	通いを中心に、利用者の選択に応じて訪問系のサービスや泊まりのサービスを組みあわせて提供するサービスです
夜間対応型訪問介護	24 時間安心して在宅生活が送るための、巡回や通報システムによる夜間専用の訪問介護サービスです
地域密着型特定施設入居者生活介護	小規模（定員 29 人以下）の介護専用型の有料老人ホームなどで、日常生活上の世話や機能訓練などを行うサービスです
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	小規模（定員 29 人以下）の特別養護老人ホームなどで、日常生活上の世話や機能訓練などを行うサービスです

■介護保険対象外サービスの内容

養護老人ホーム	環境、経済的理由などにより、居宅において養護を受けることが困難な方の入所施設です
ケアハウス	高齢のため独立して生活するには不安があり、家族の援助が受けることが困難な方の入所施設です
生活支援ハウス	高齢のため独立して生活するには不安があり、家族の援助が受けることが困難な方の入所施設です
その他高齢者向け住宅	高齢者の自立した暮らしを支援する施設です